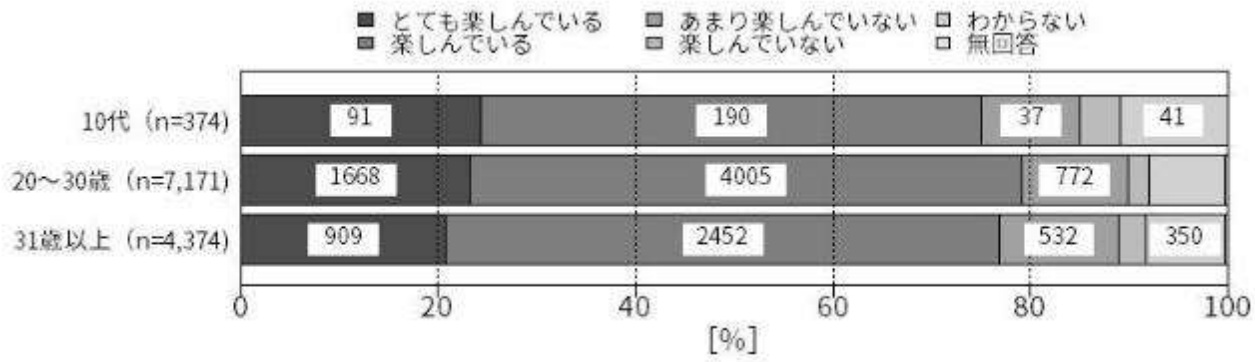
初めて親となった年齢別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 33×問 36-1）
※母親が回答者の場合に限定

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

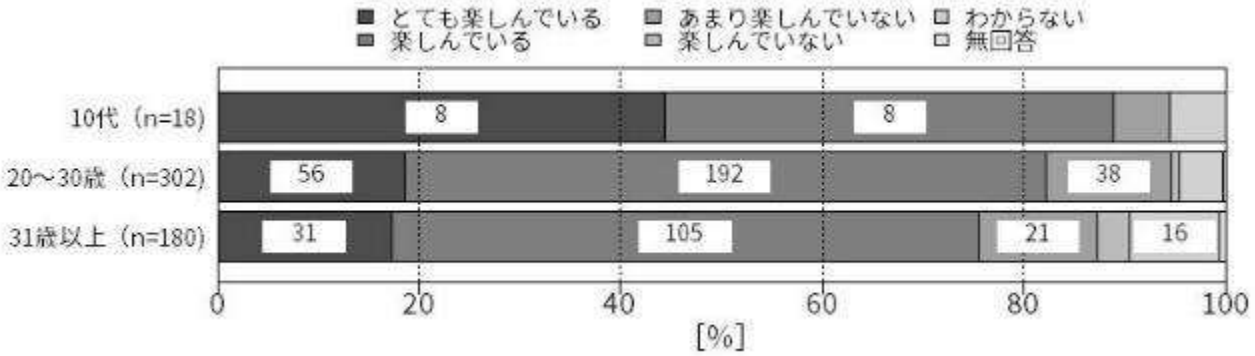
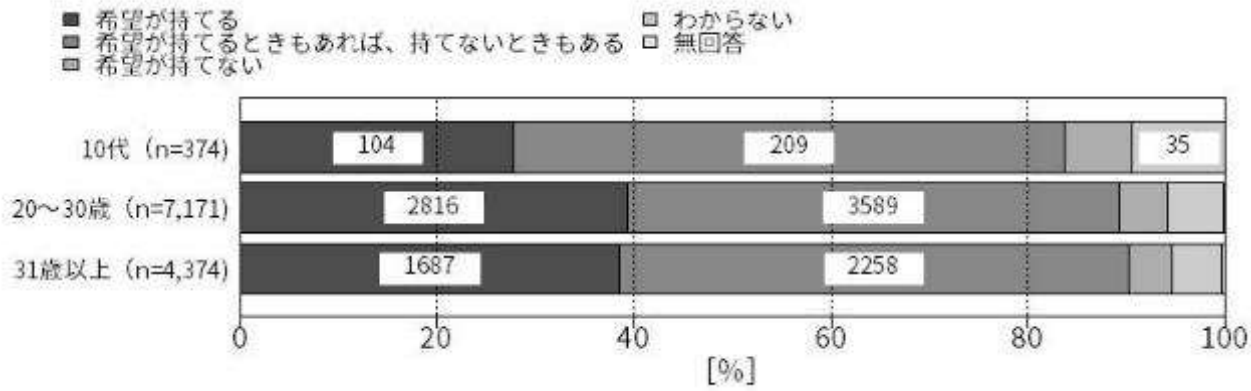


図 105. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 33×問 36-2）
※母親が回答者の場合に限定

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

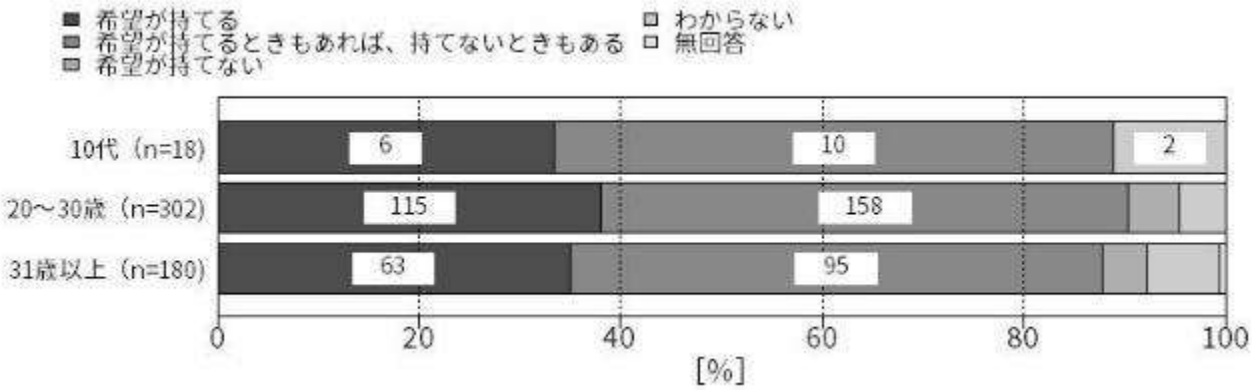
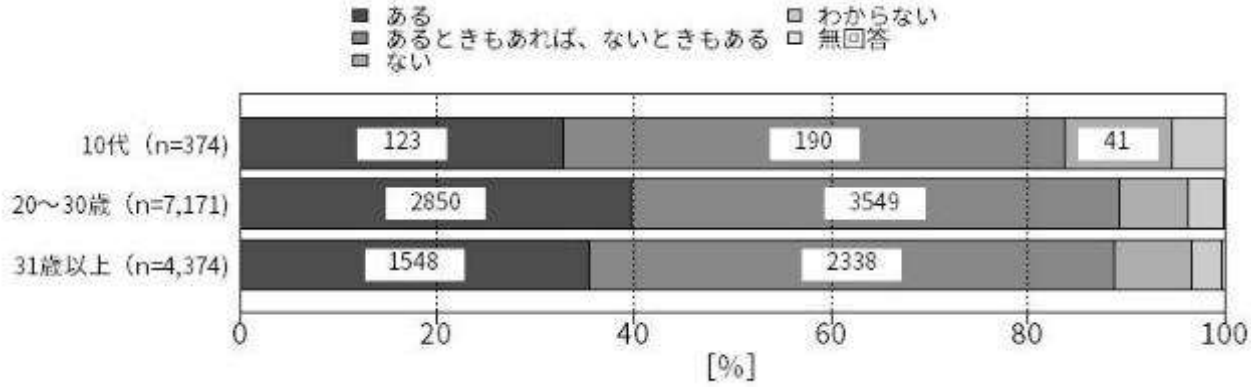


図 106. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望
※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
（問 33×問 36-3）※母親が回答者の場合に限定

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

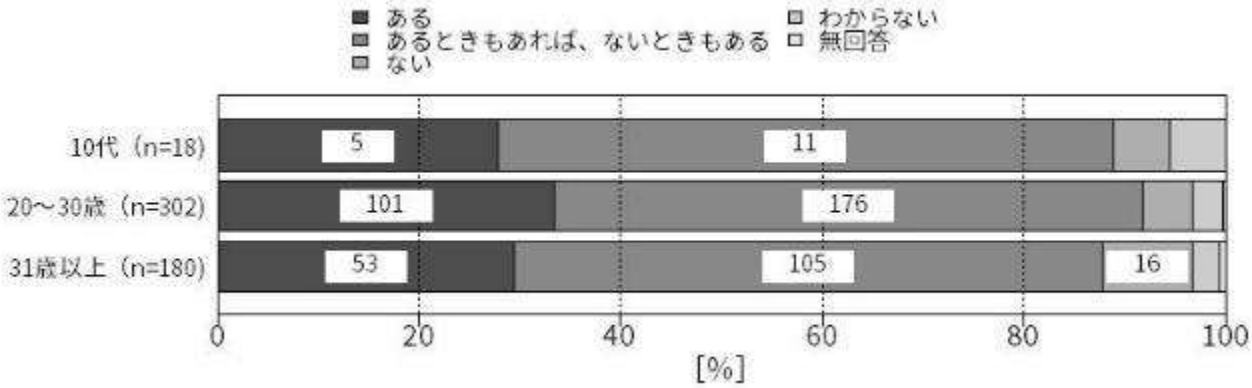
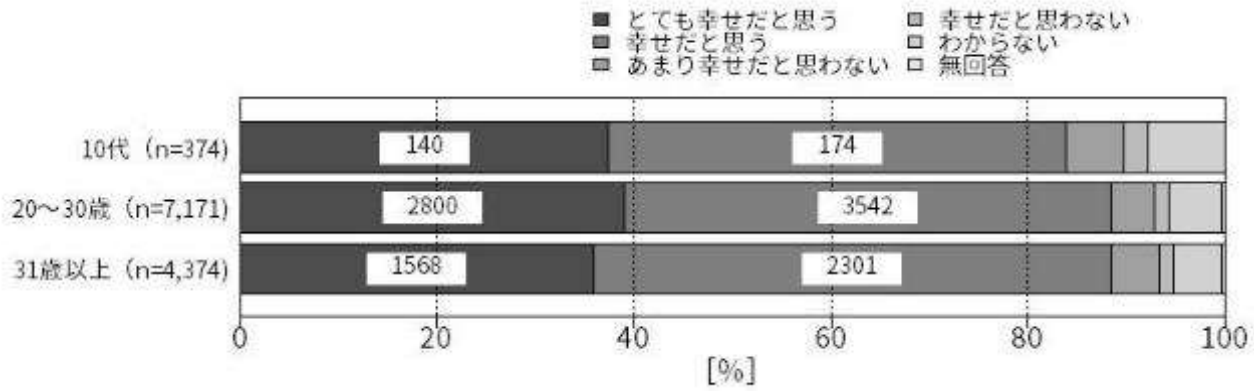


図 107. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 33×問 36-4）
※母親が回答者の場合に限定

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

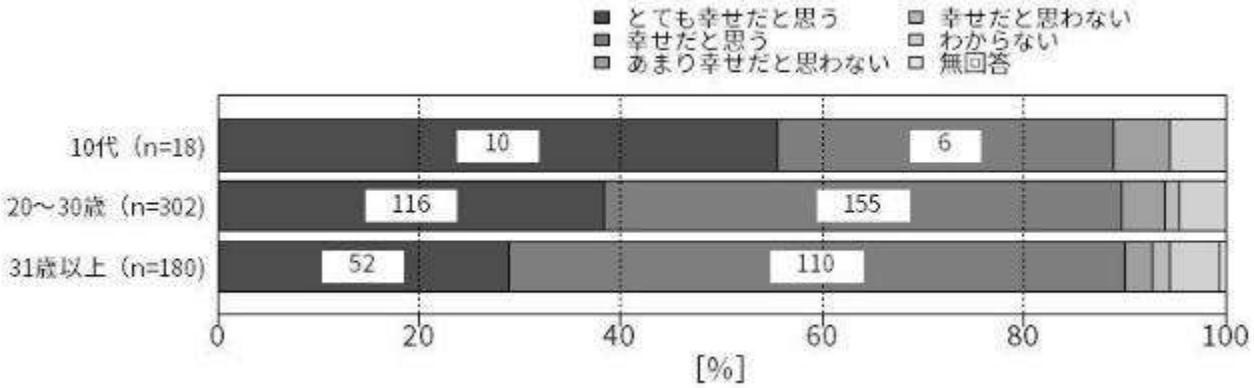


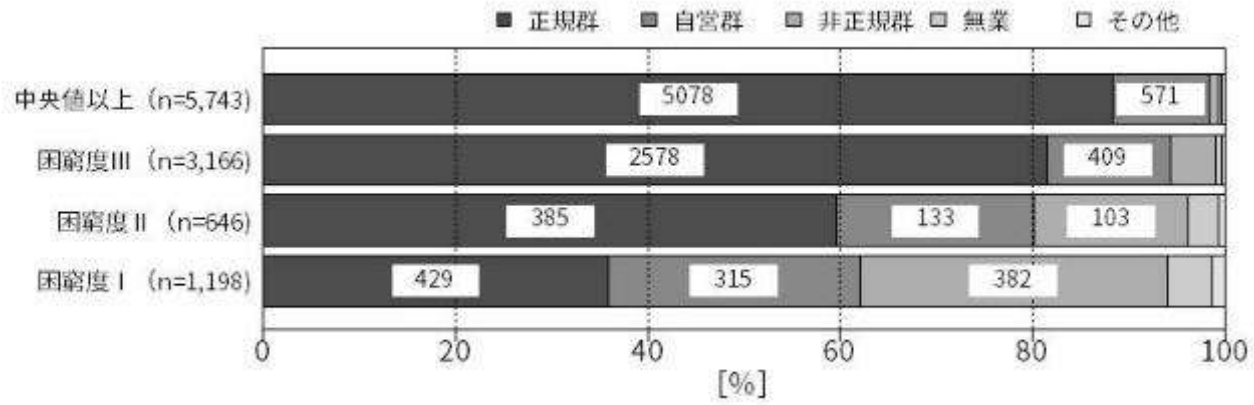
図 108. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う
※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

３－２．雇用

困窮度別に見た、就労状況（問 8）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

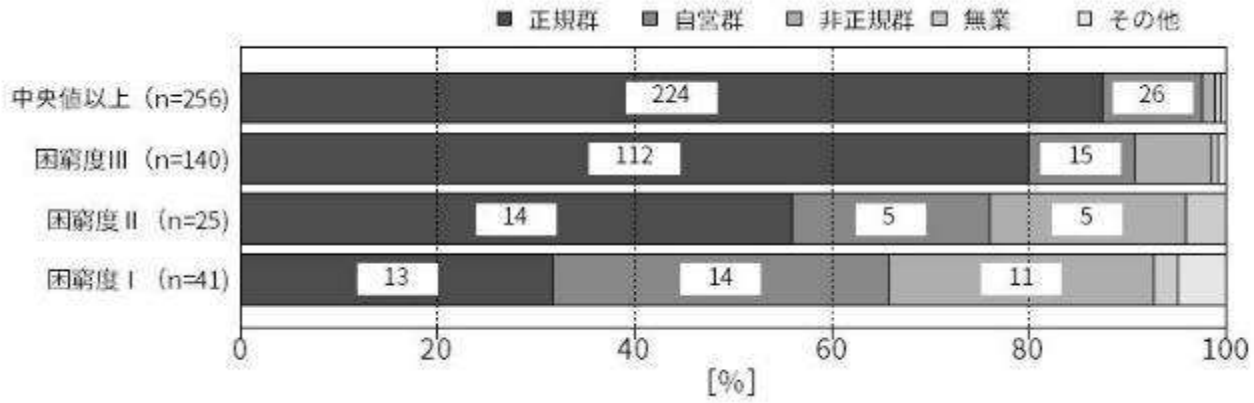
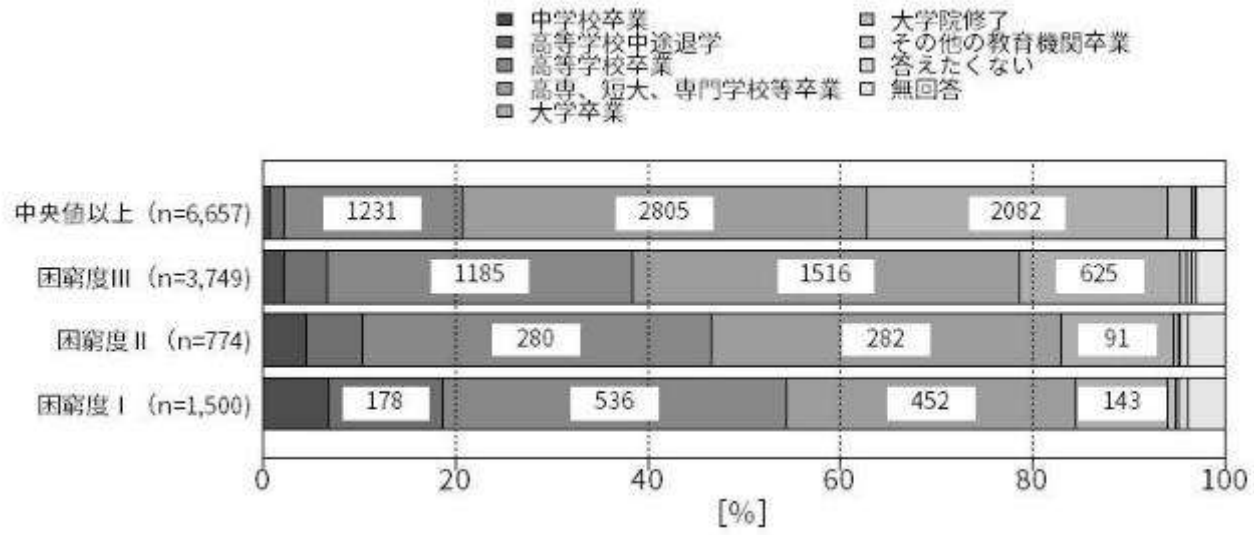


図 109. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度が高まるにつれて、正規群の割合が減り、非正規群・自営群の割合が高まる傾向にあった。困窮度Ⅰ群においては、自営群は 34.1%、非正規群は 26.8%であった。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（問 7-母）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

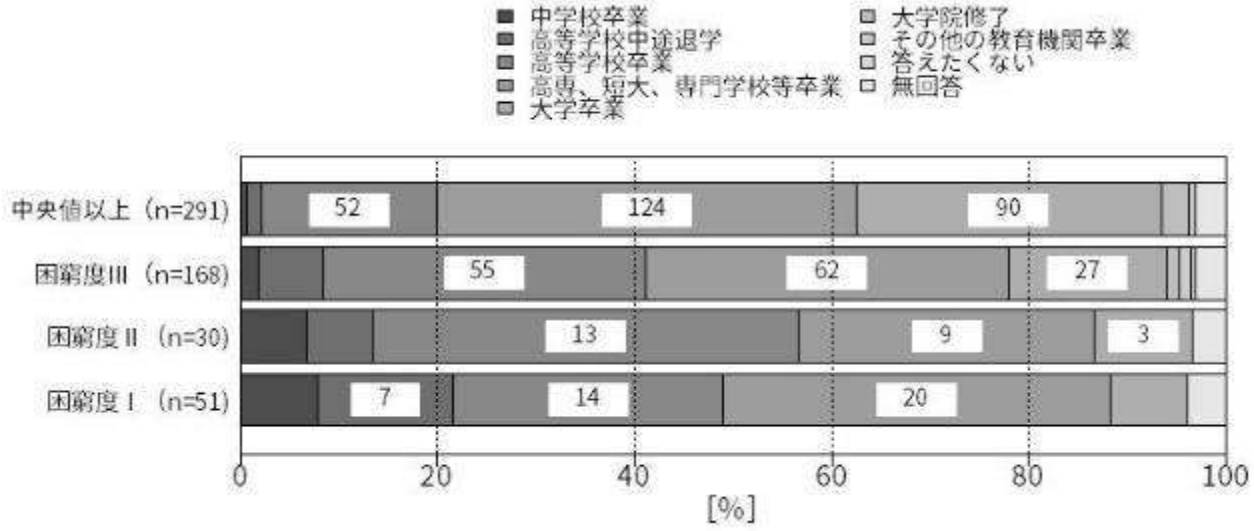
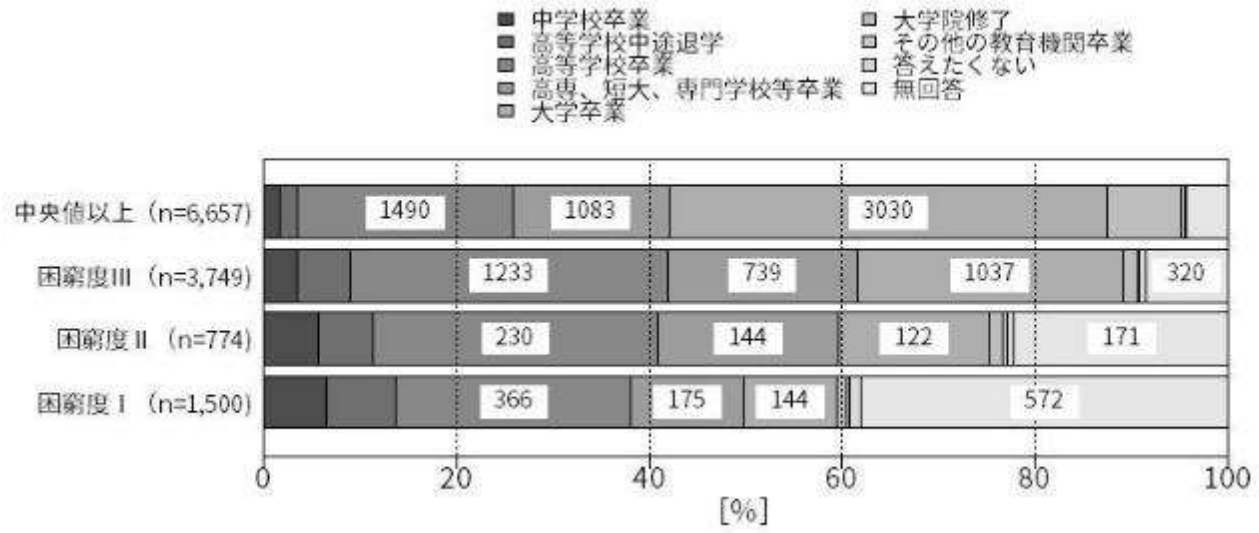


図 110. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度 I 群で「中学校卒業」は 7.8%、「高等学校中途退学」は 13.7%であった。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（問 7-父）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

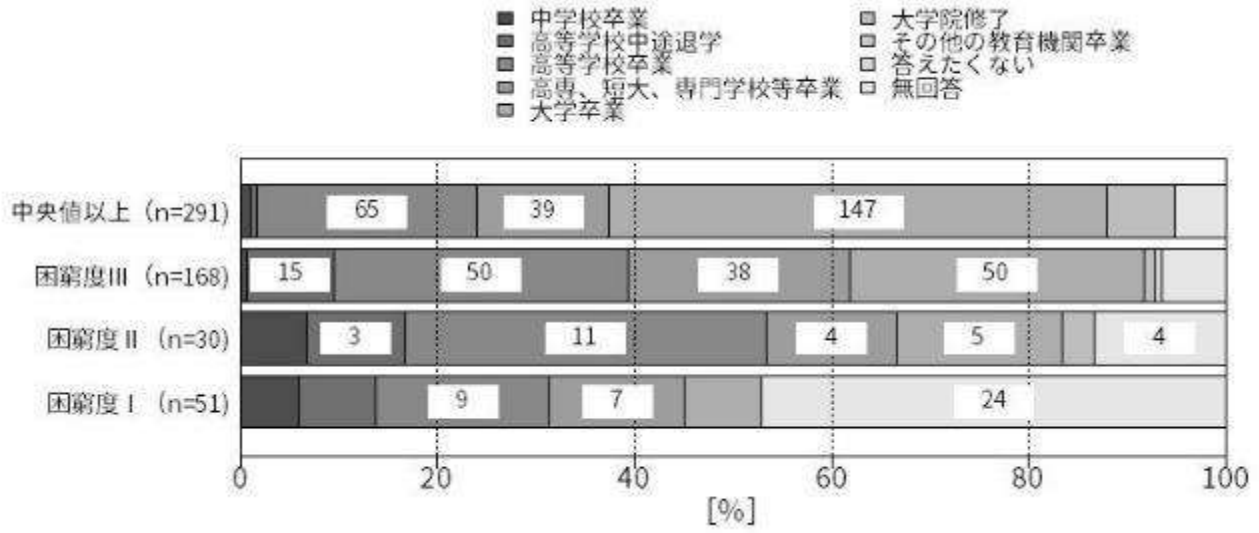
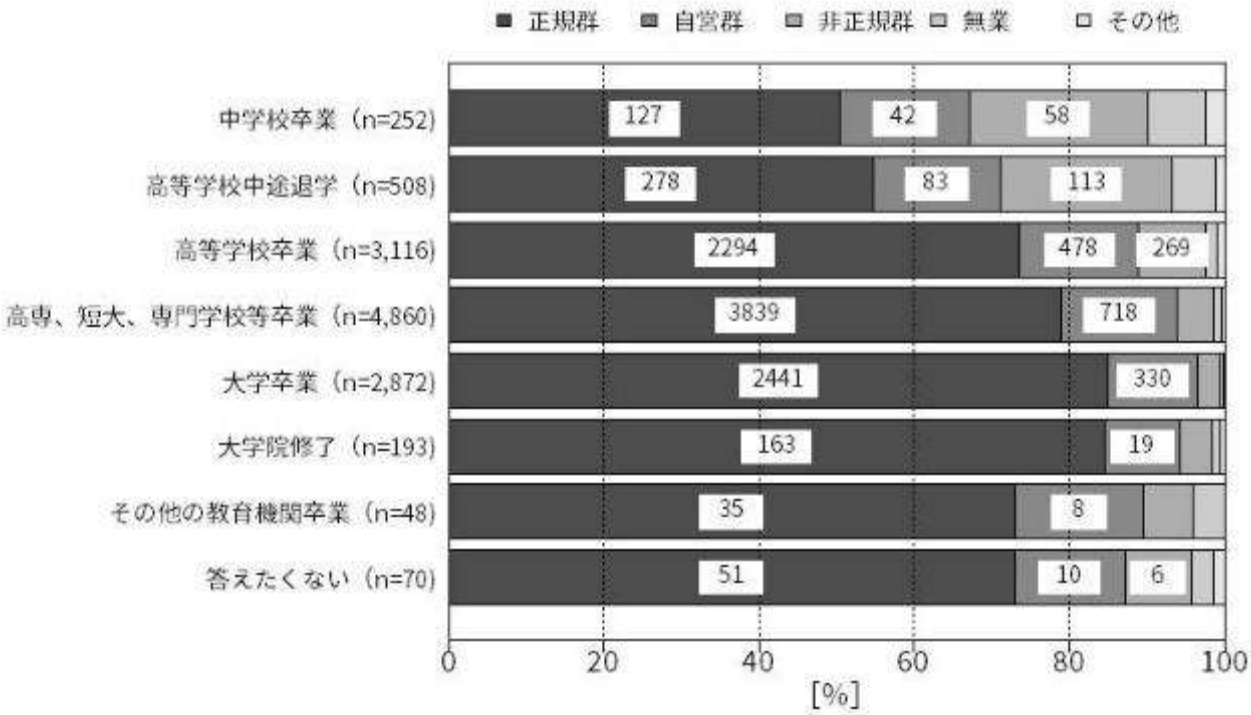


図 111. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度 I 群で「中学校卒業」は 5.9%、「高等学校中途退学」は 7.8%であった。

母親の最終学歴別に見た、就労状況（問 7×問 8）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

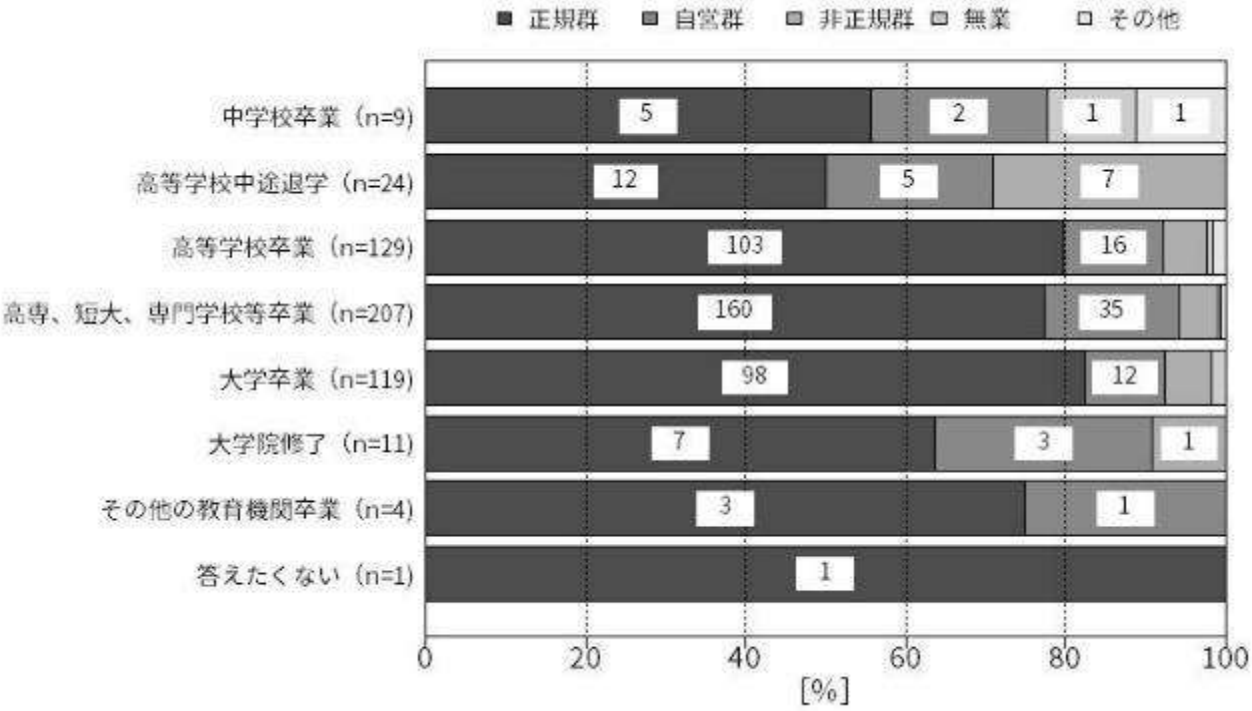
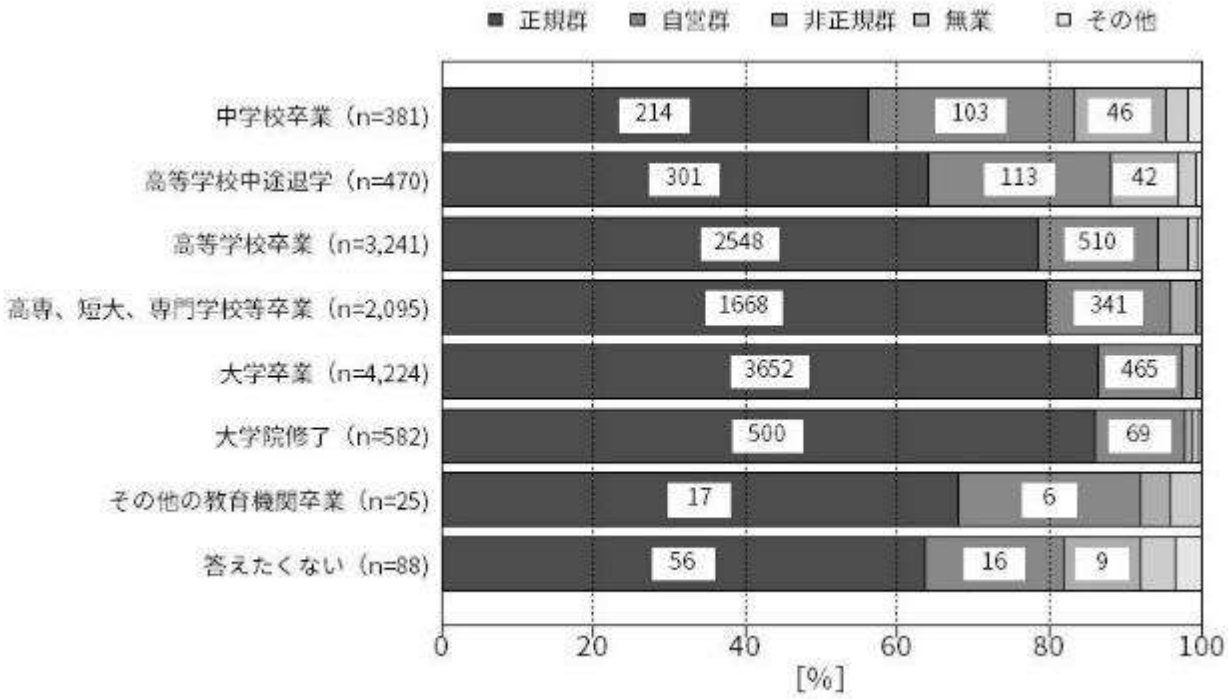


図 112. 母親の最終学歴別に見た、就労状況

学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる傾向にあった。

父親の最終学歴別に見た、就労状況（問 7×問 8）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

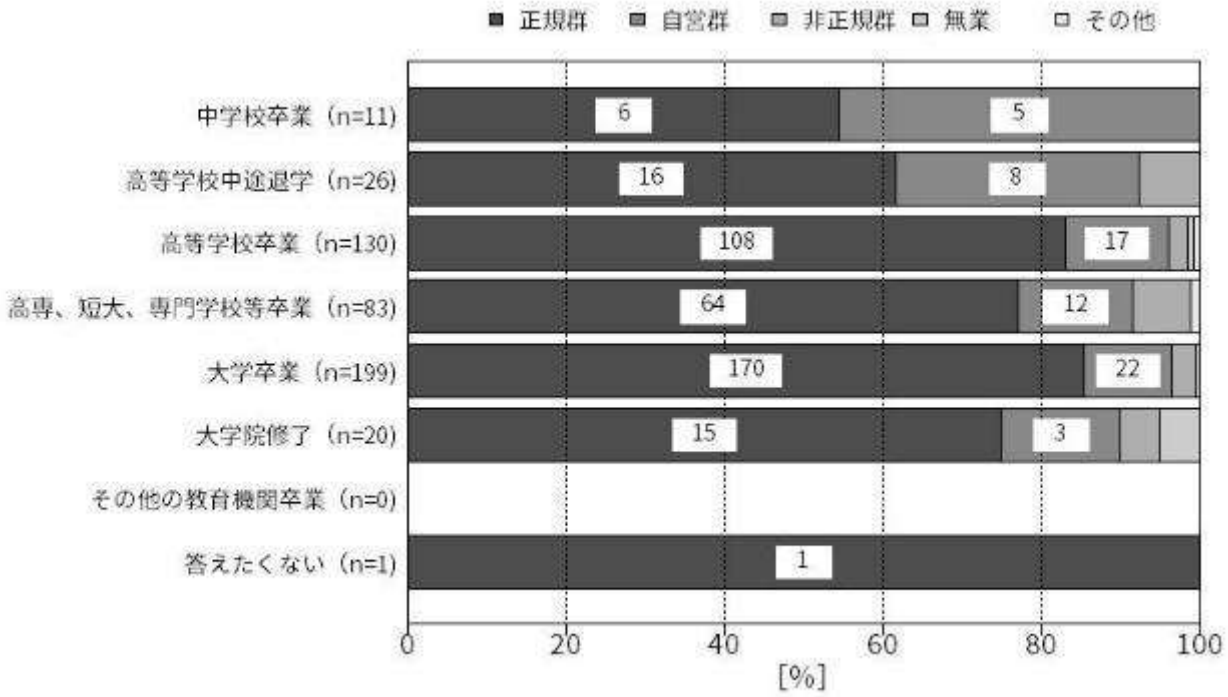
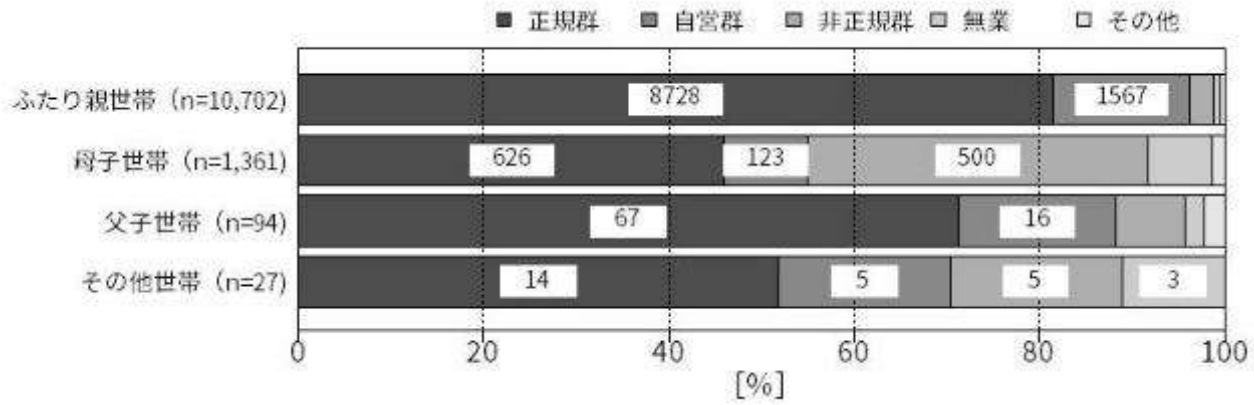


図 113. 父親の最終学歴別に見た、就労状況

学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる傾向にあった。

世帯構成別に見た、就労状況（問 1×問 8）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

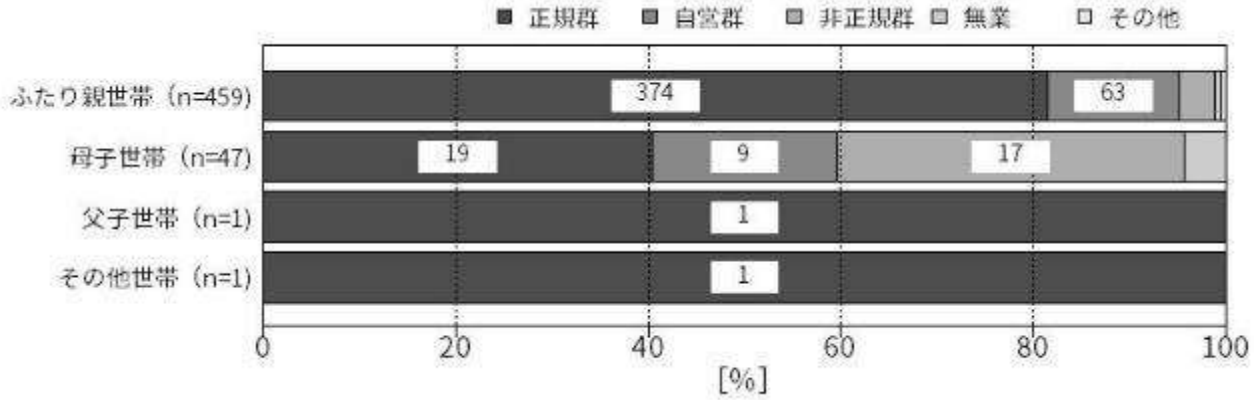
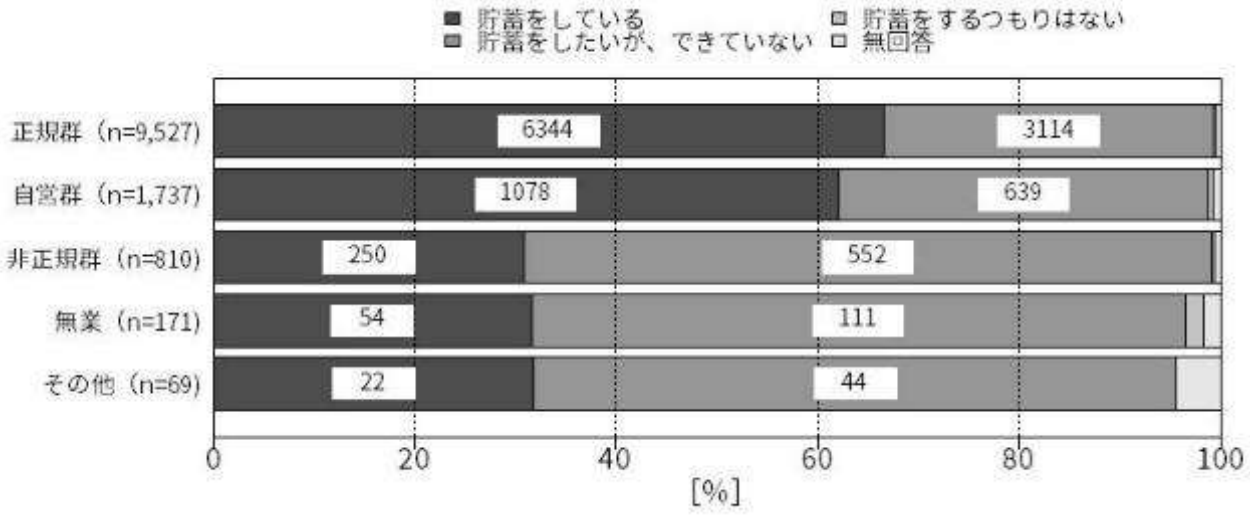


図 114. 世帯構成別に見た、就労状況

ふたり親世帯では、正規群の割合が高かった。母子世帯では、正規群の割合が 40.4%であった。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄（問 8×問 5-3）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

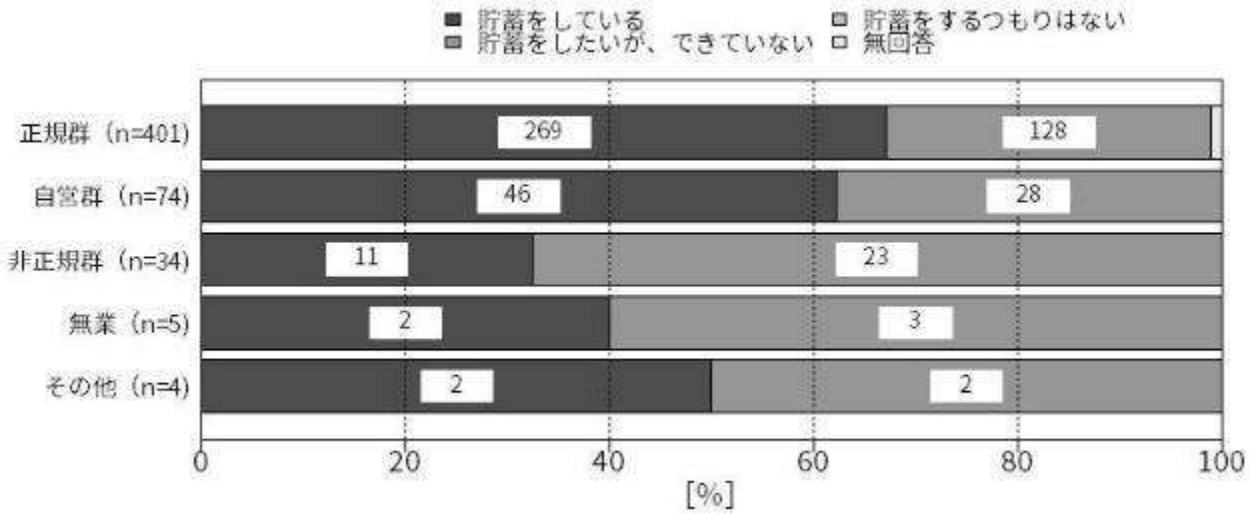
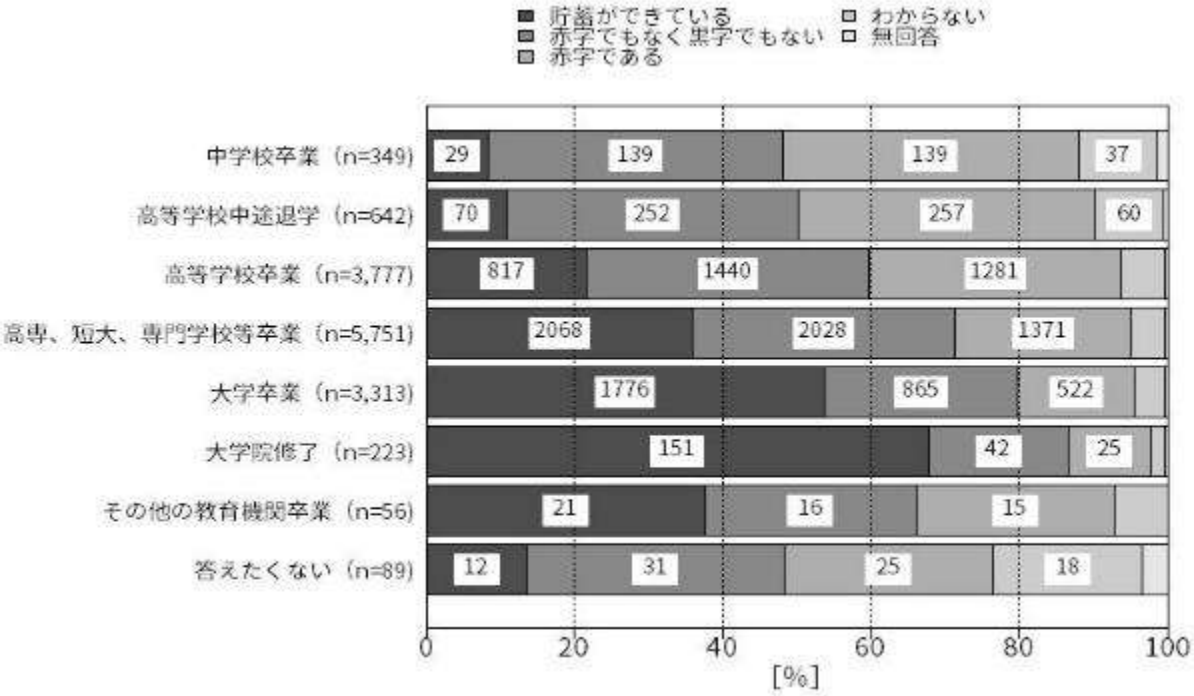


図 115. 就労状況別に見た、子どものための貯蓄

正規群・自営群では貯蓄ができている割合が高く、非正規群では貯蓄できている割合が低くなる傾向にあり、それぞれ 32.4%であった。

母親の最終学歴別に見た、家計状況（問 7×問 5-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

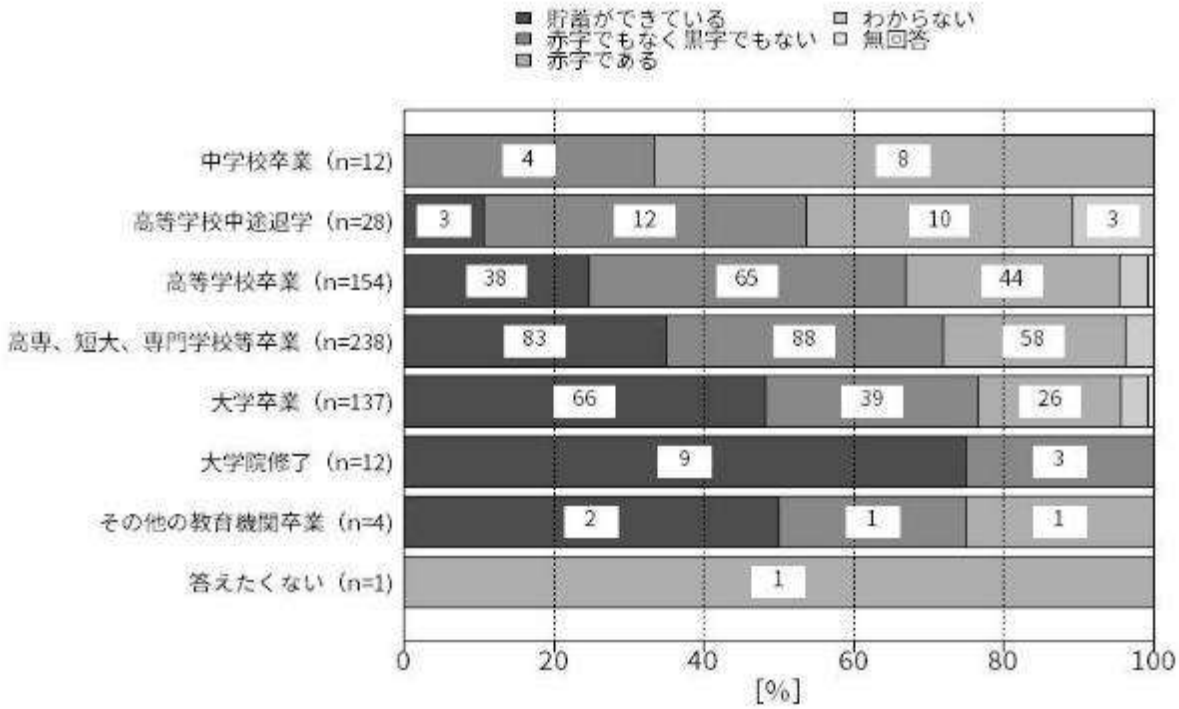
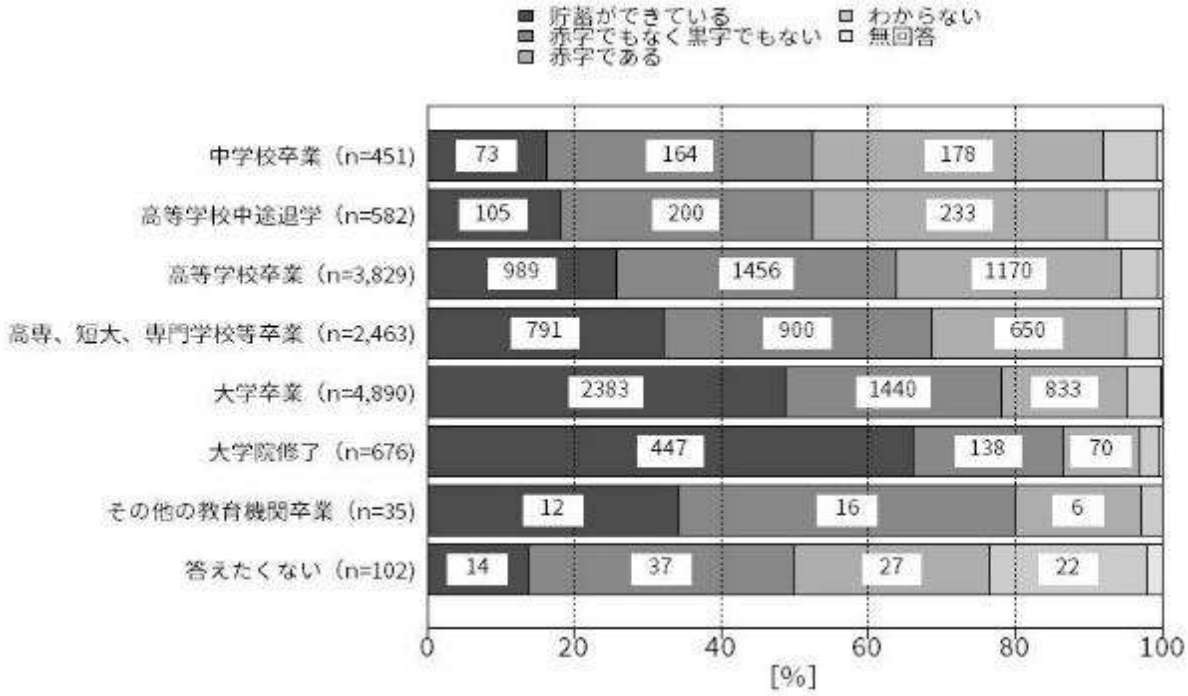


図 116. 母親の最終学歴別に見た、家計状況

高等学校中途退学では、貯蓄ができている割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高く、赤字である割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、家計状況（問 7×問 5-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

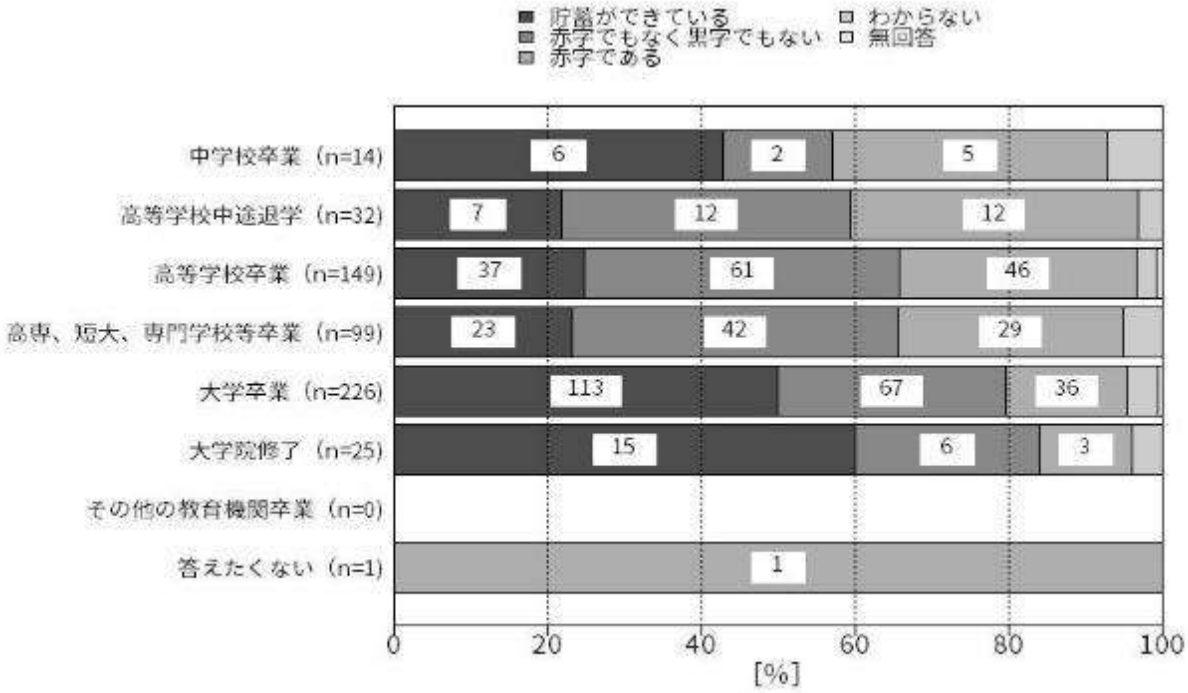
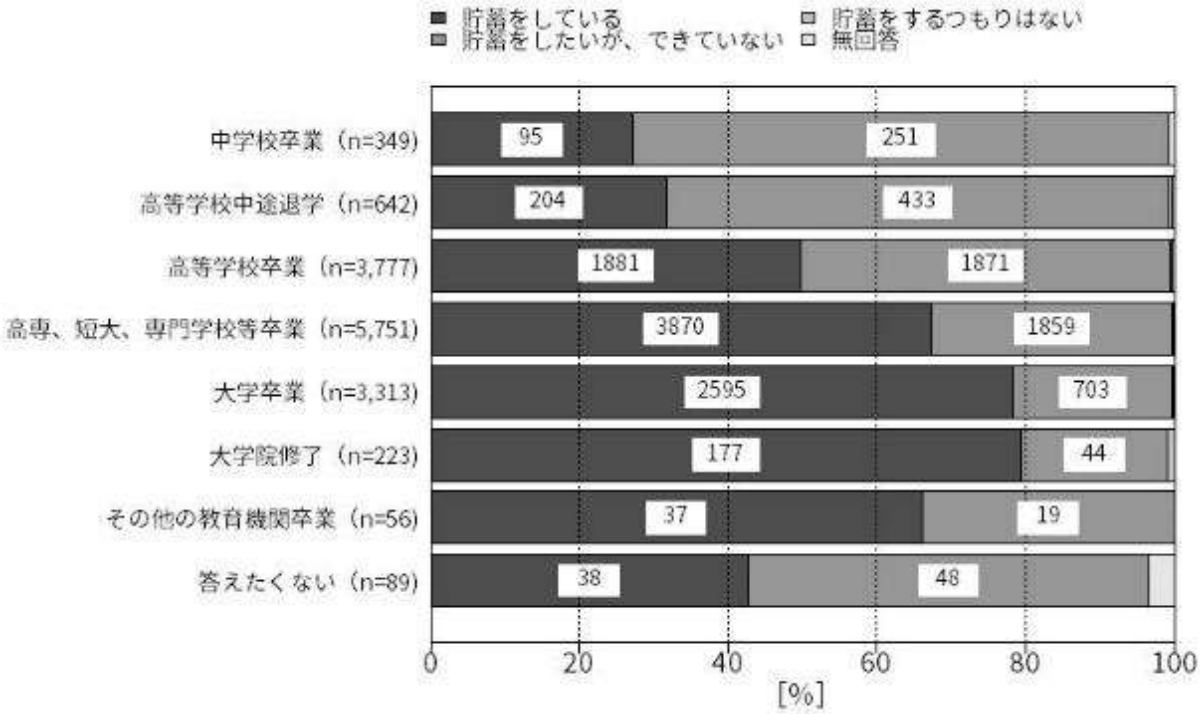


図 117. 父親の最終学歴別に見た、家計状況

高等学校中途退学では、貯蓄ができている割合が低い傾向にあった。大学卒業では、貯蓄ができている割合が高く、赤字である割合が低くなる。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問 7×問 5-3）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

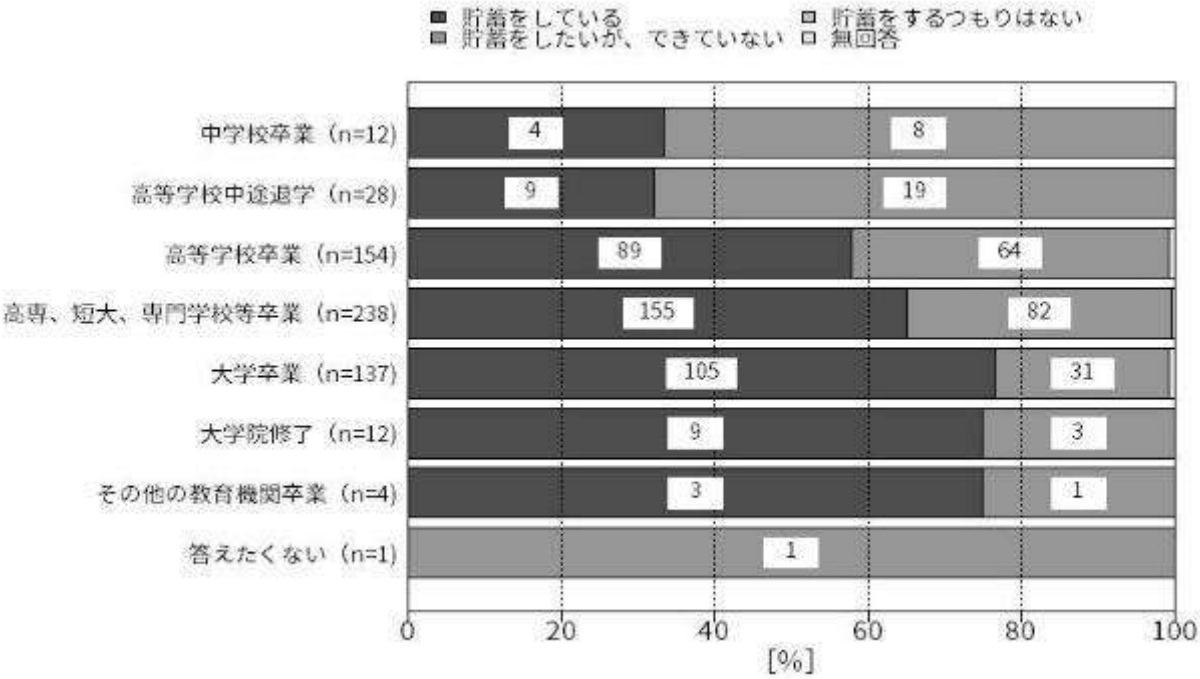
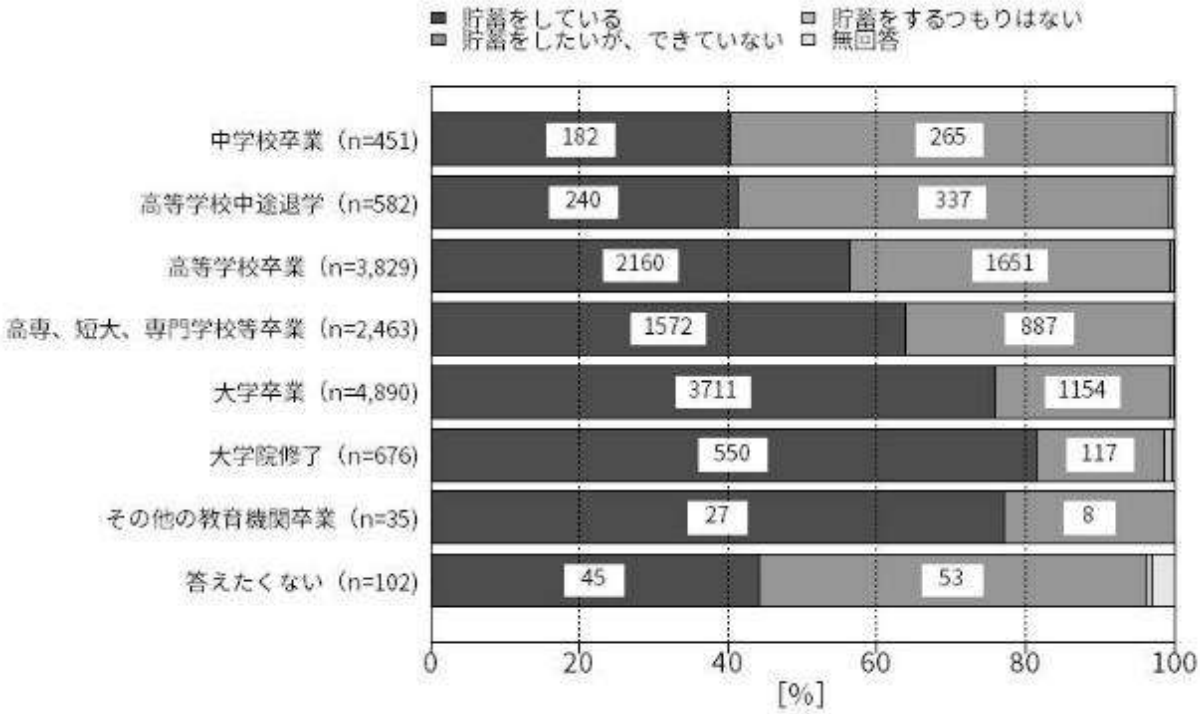


図 118. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

高等学校中途退学では、子どものための貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問 7×問 5-3）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

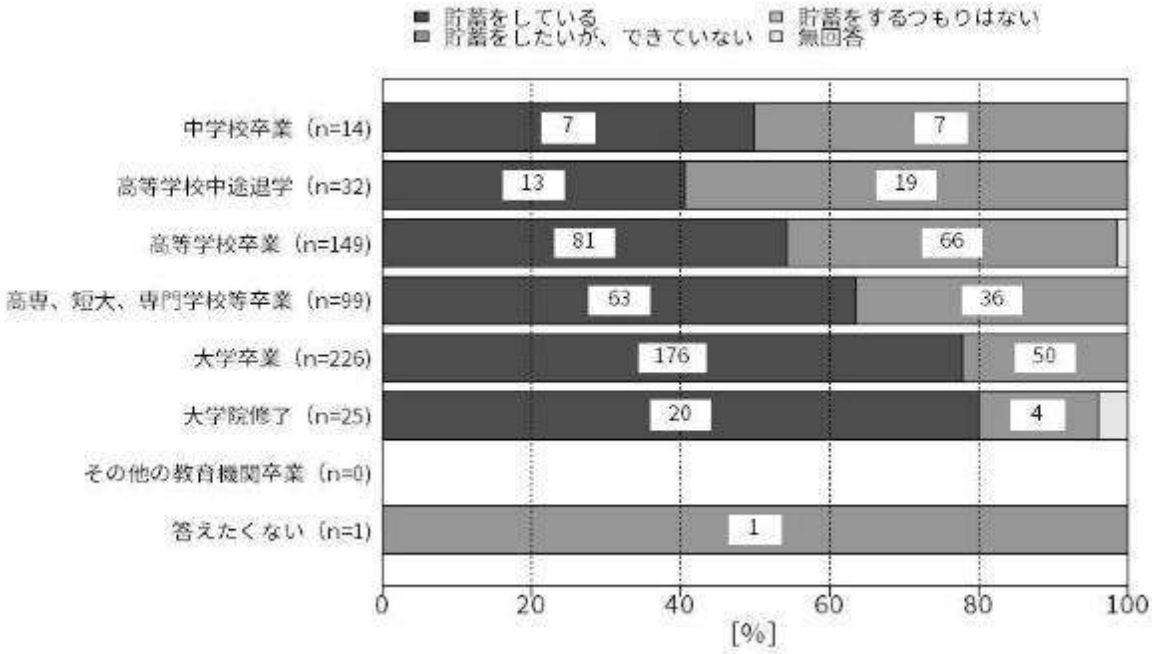


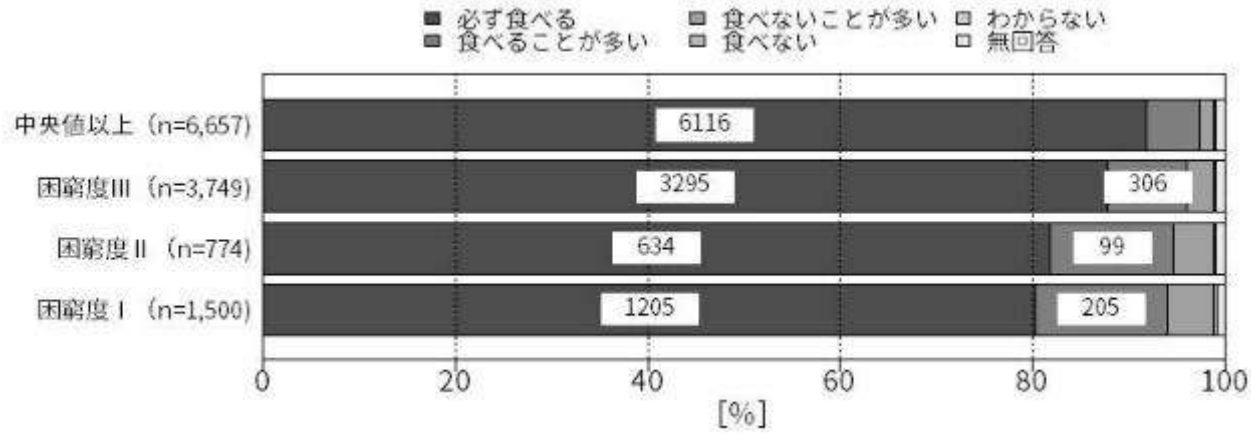
図 119. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

高等学校中途退学では、子どものために貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

３－３．健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（問 17）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

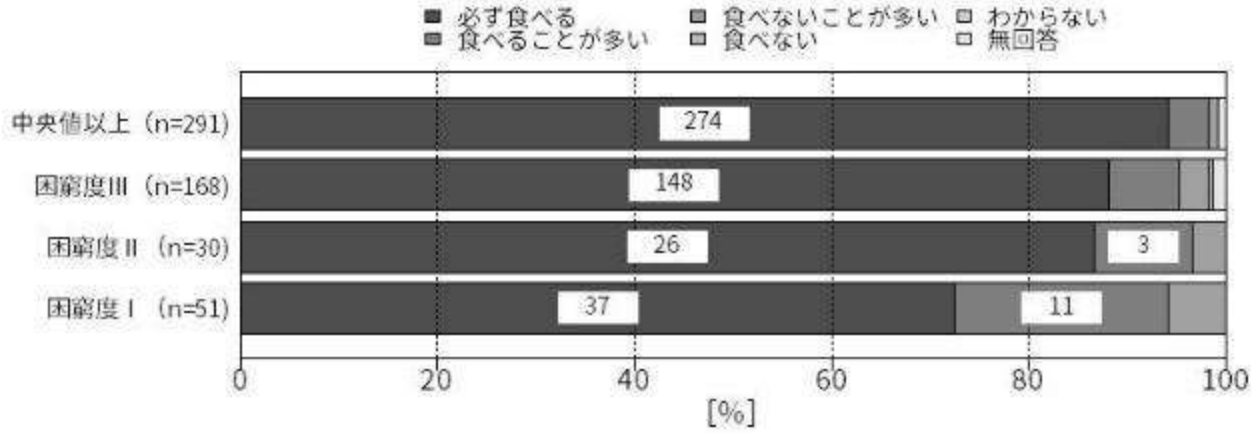
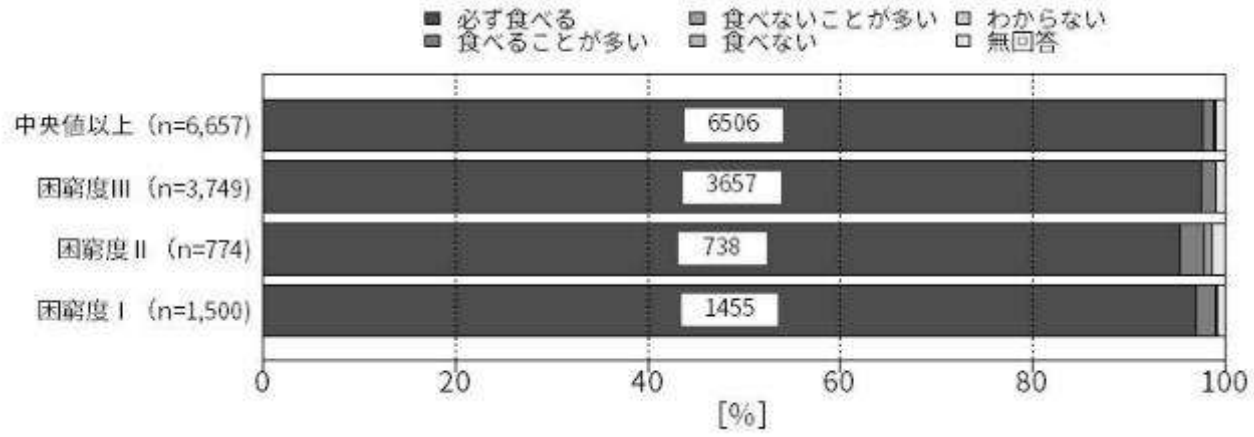


図 120. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 72.5%となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問 20）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

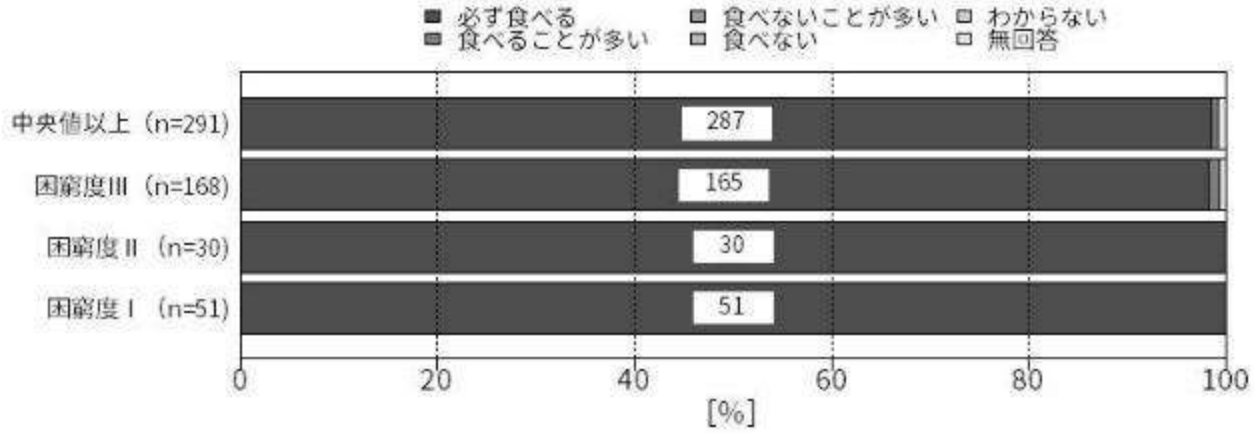
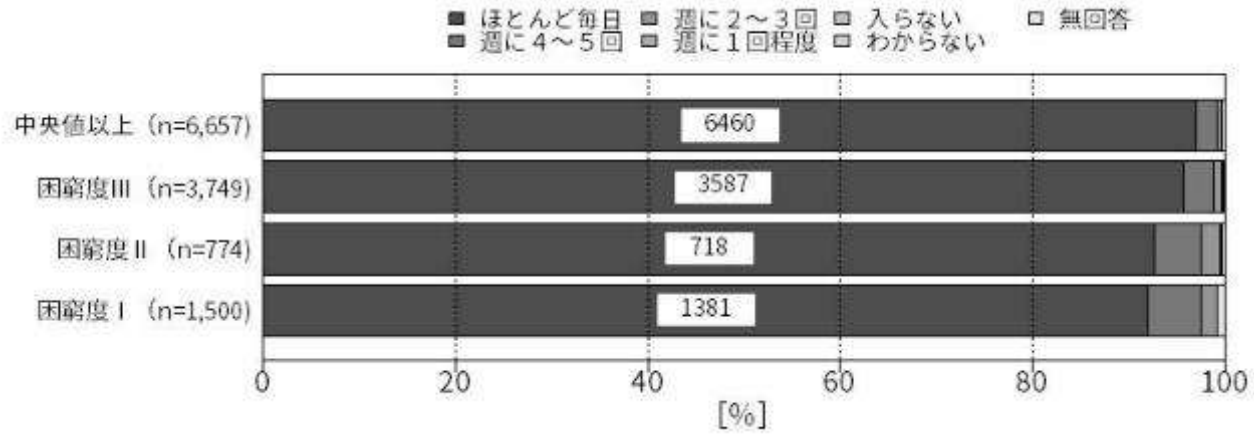


図 121. 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度によって、大きな差は見られなかった。いずれもほとんどすべての世帯で必ず夕食を食べている。

困窮度別に見た、入浴頻度（問 23）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

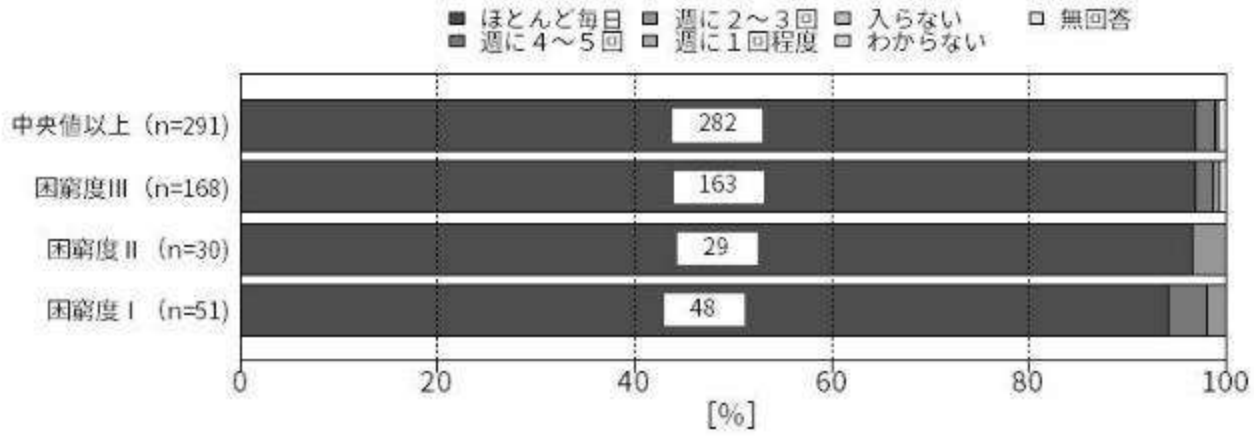
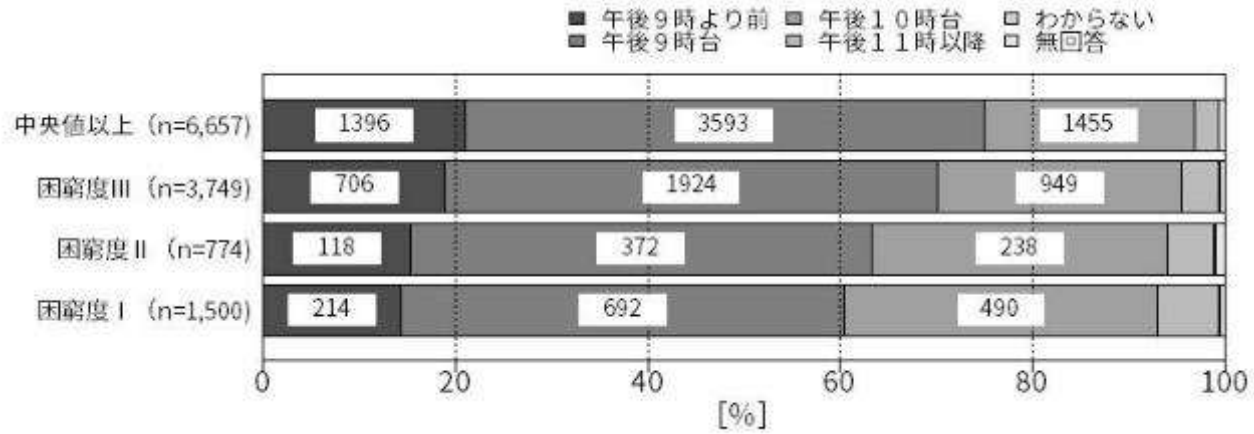


図 122. 困窮度別に見た、入浴頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、お風呂にほとんど毎日入る頻度が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 94.1%となっている。

困窮度別に見た、就寝時間（問 16）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

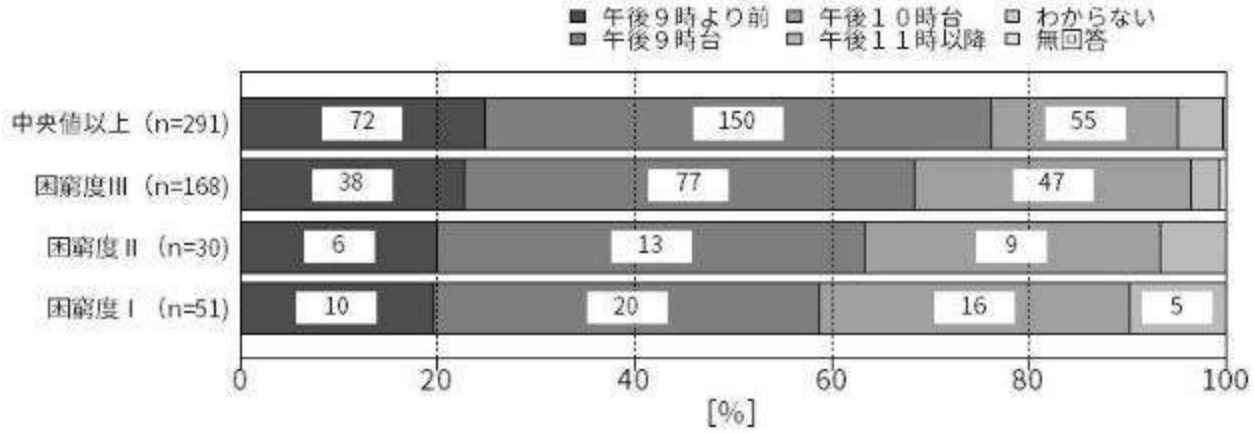
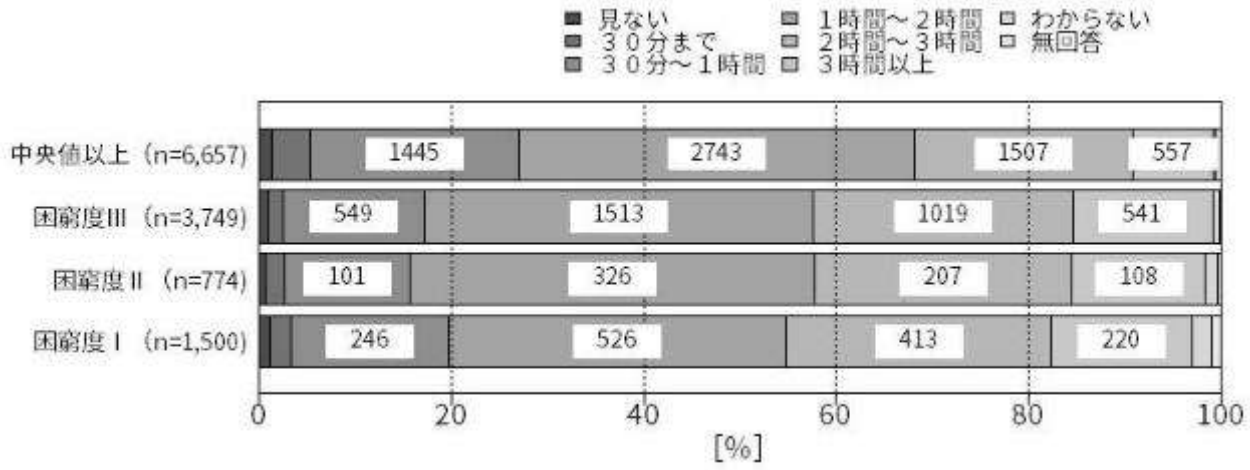


図 123. 困窮度別に見た、就寝時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、就寝時間が遅くなる傾向にあった。、困窮度Ⅰ群においては午後１０時台と回答した割合がやや高く、31.4%となっている。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間（問 24）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

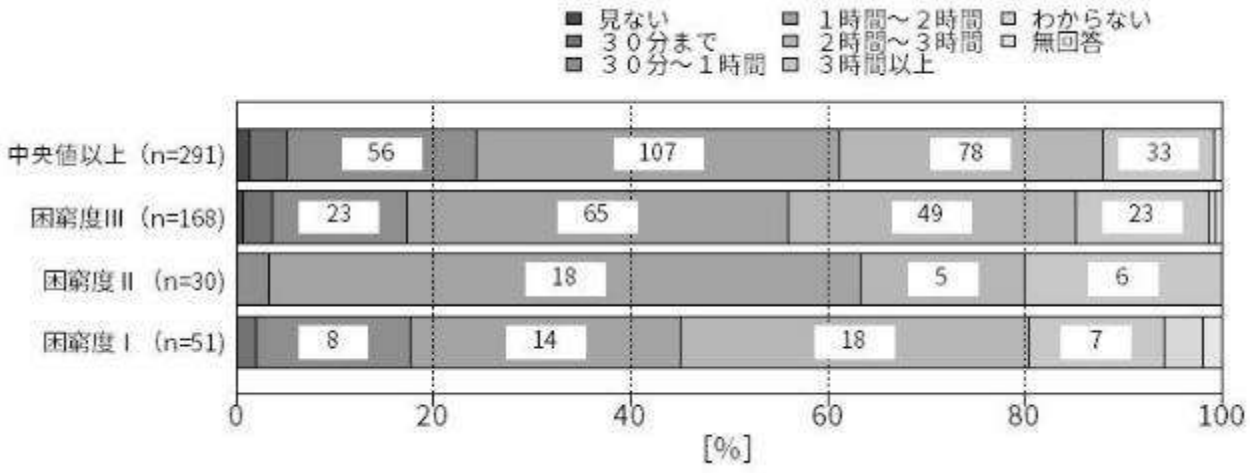
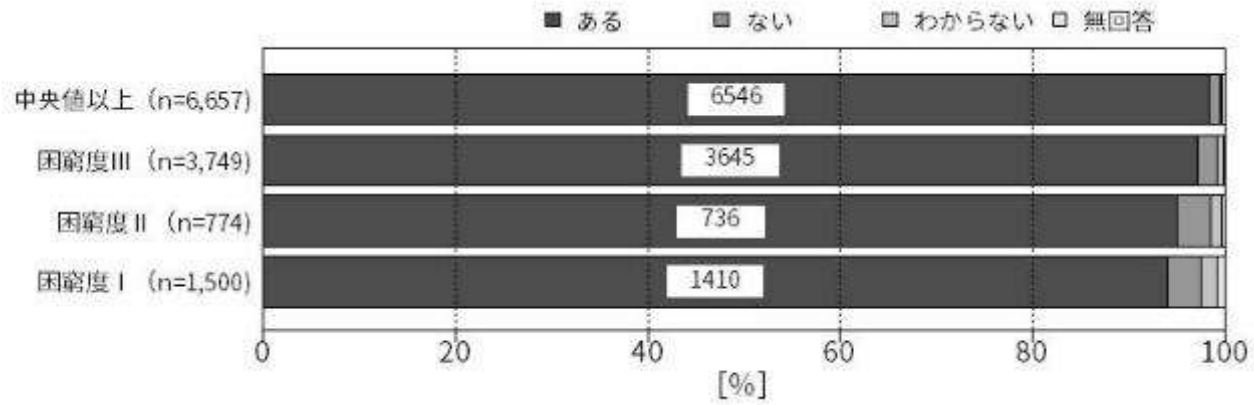


図 124. 困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、視聴時間が長くなる傾向にあった。中央値以上群では「見ない」～「１時間～２時間」の回答を選択した割合が高く、約 6 割となっている。

困窮度別に見た、歯磨きの習慣（問 25）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

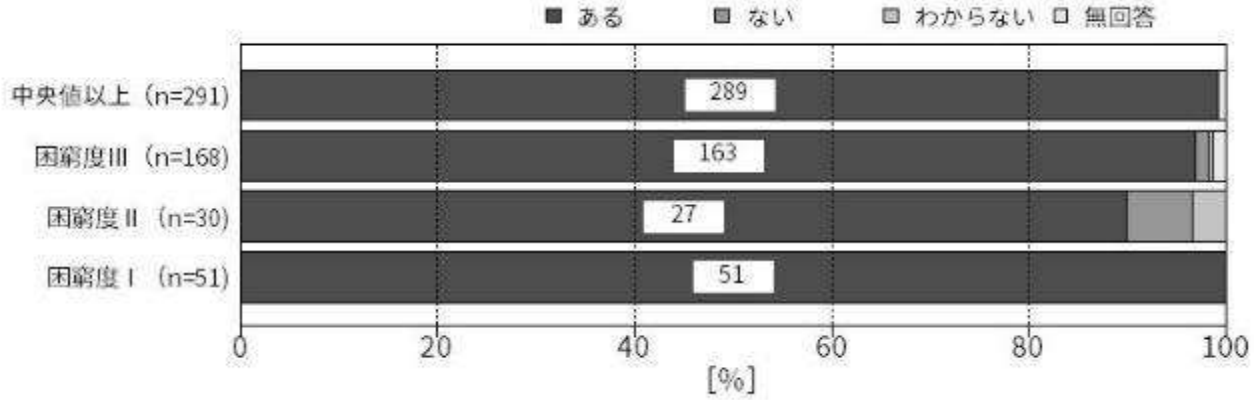
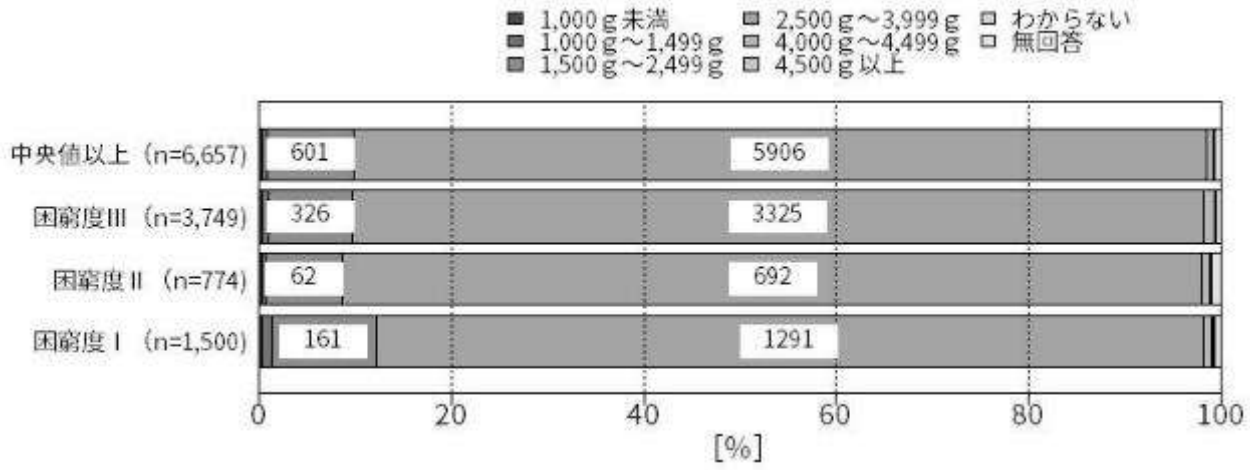


図 125. 困窮度別に見た、歯磨きの習慣

困窮度Ⅲ群では歯磨きの習慣がない子どもが多く、10.0%に上った。

困窮度別に見た、出生時体重（問 11）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

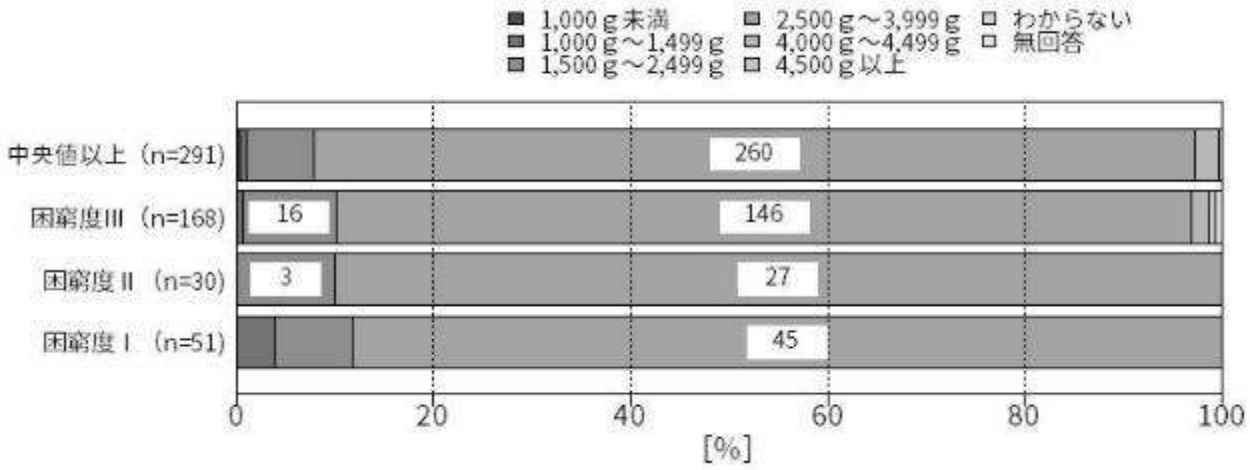
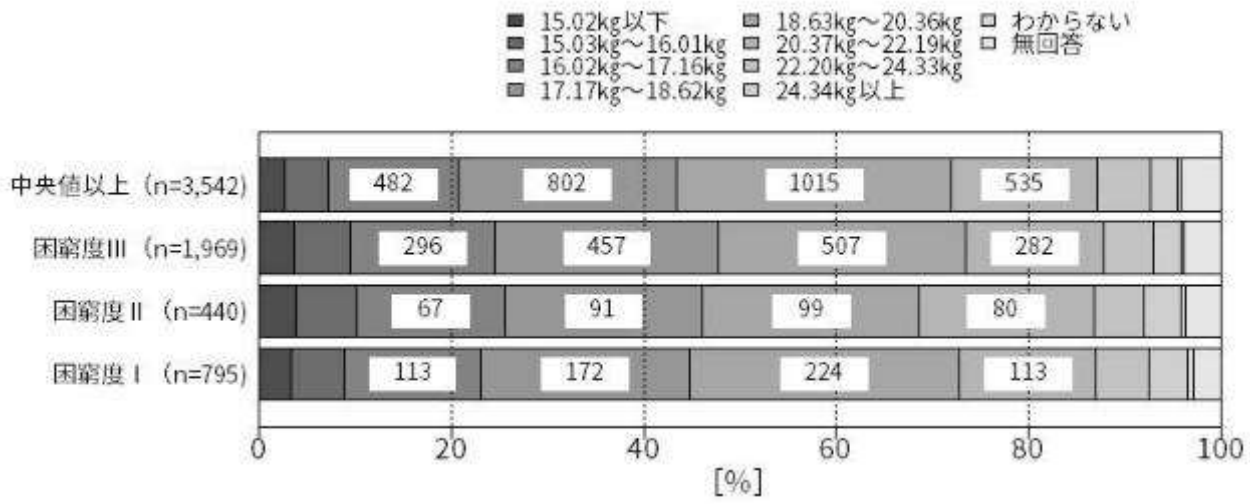


図 126. 困窮度別に見た、出生時体重

困窮度が厳しくなるにしたがって、出生時の体重が低くなる傾向にあった。困窮度Ⅰ群において「1,000ｇ～1,499ｇ」「1,500ｇ～2,499ｇ」と回答した割合は合計 11.8%であった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

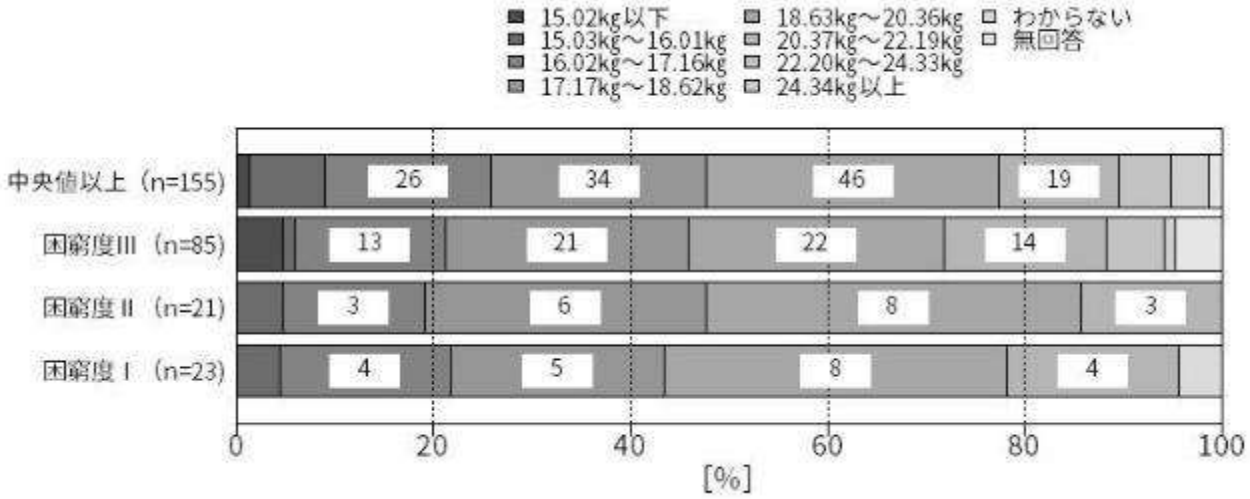
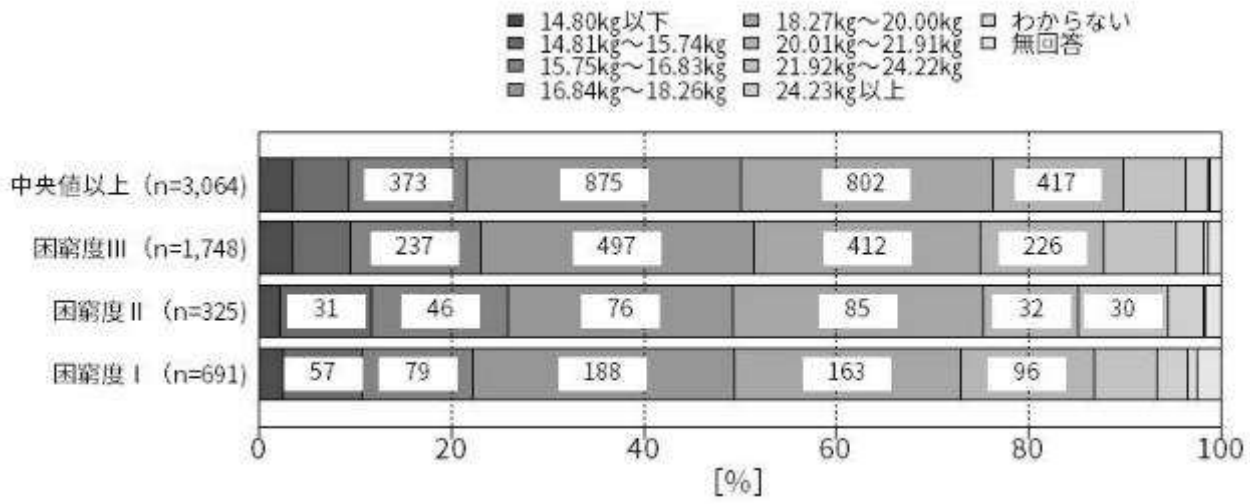


図 127. 困窮度別に見た、現在の体重＜男子＞

困窮度が高い方が、体重の軽い男子は少なかった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

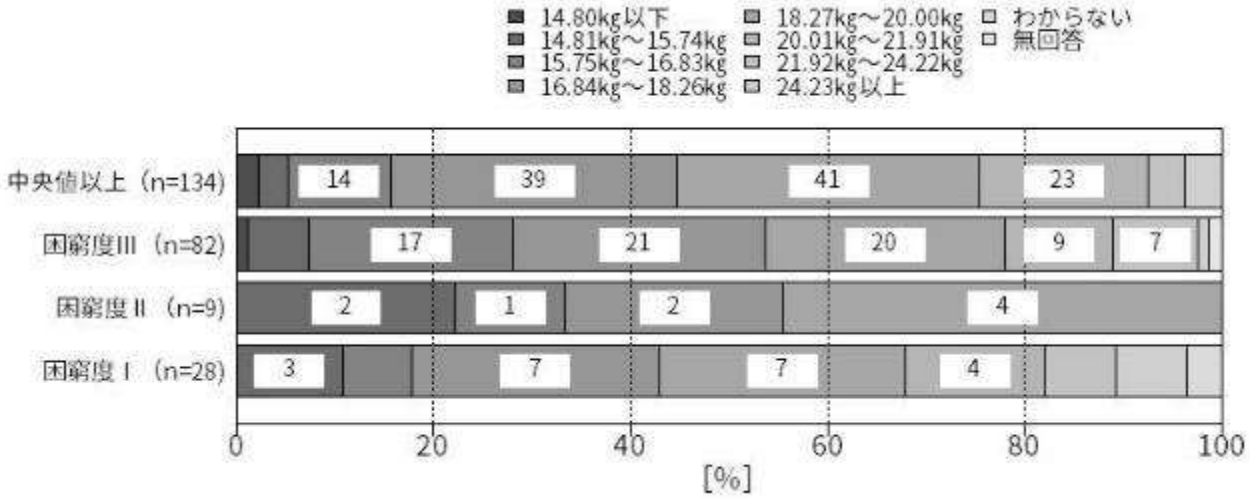
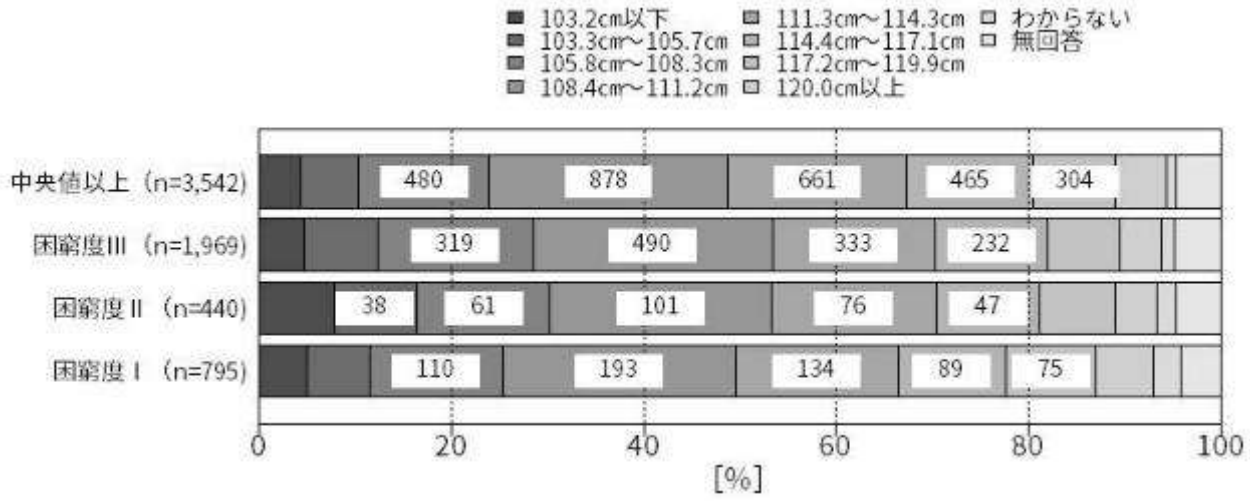


図 128. 困窮度別に見た、現在の体重＜女子＞

困窮度と現在の体重（女子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

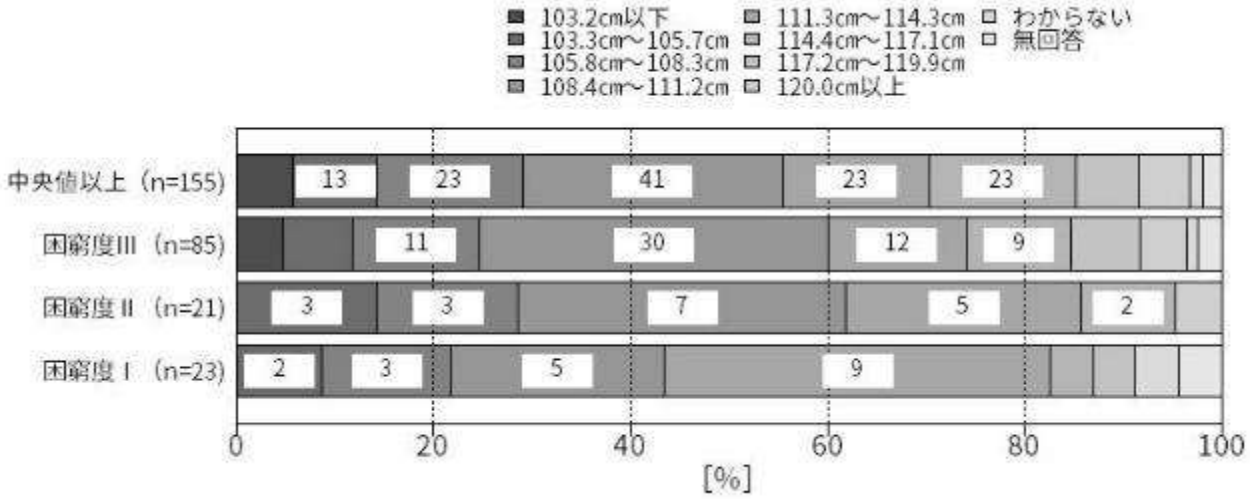
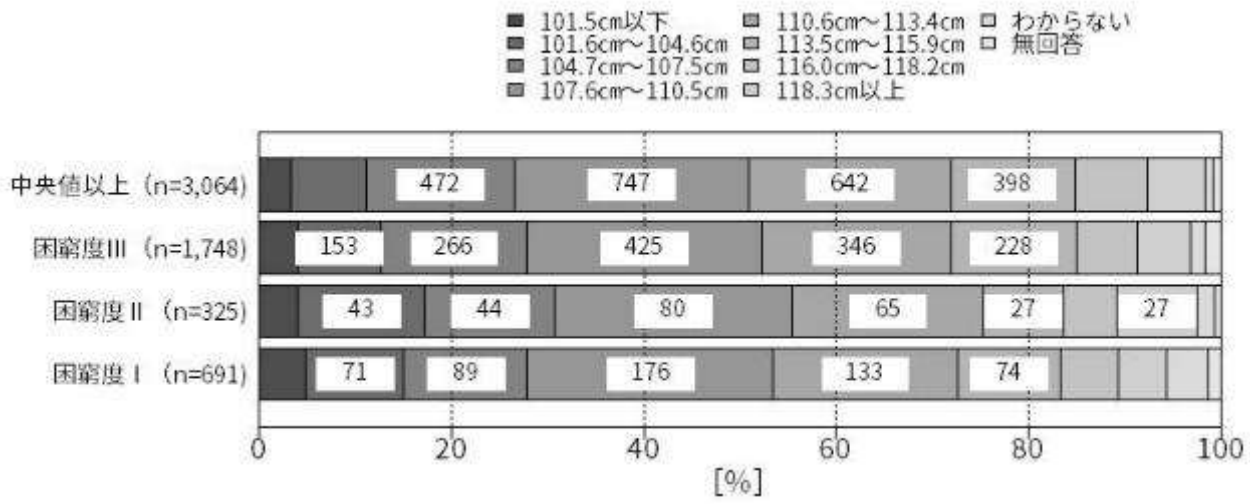


図 129. 困窮度別に見た、現在の身長＜男子＞

困窮度が高まるにつれて、現在の身長が低い男子が少なくなる。。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

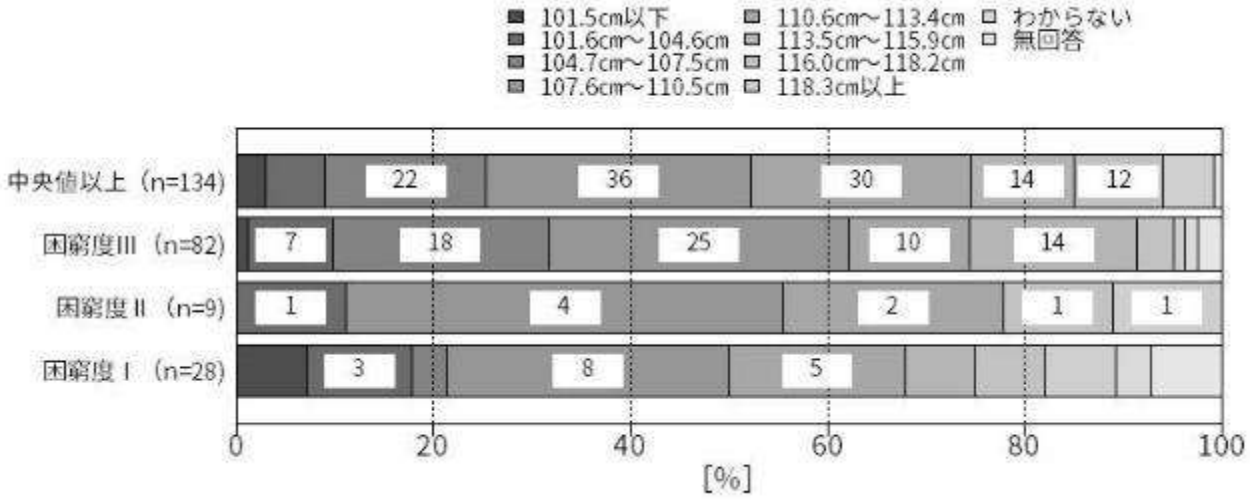
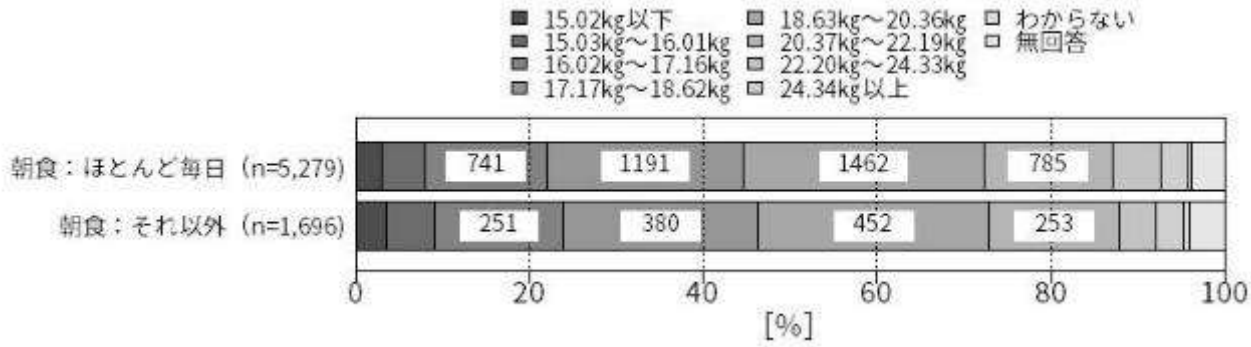


図 130. 困窮度別に見た、現在の身長＜女子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い女子の割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

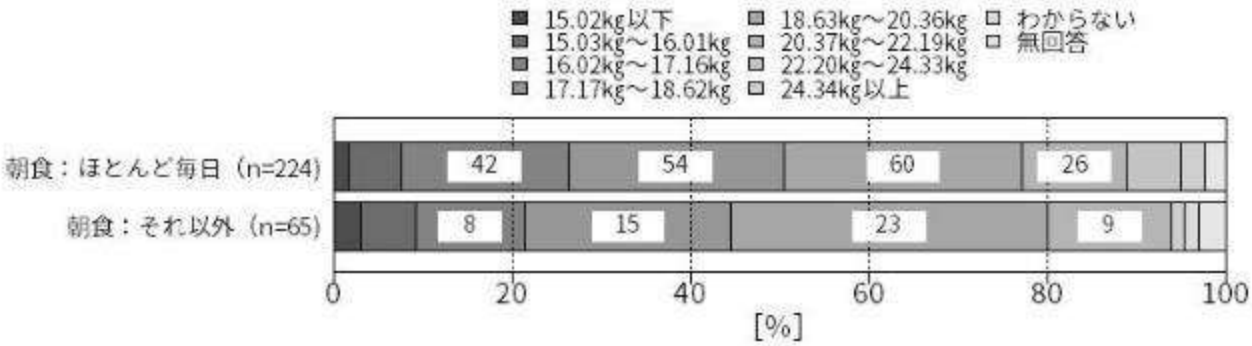
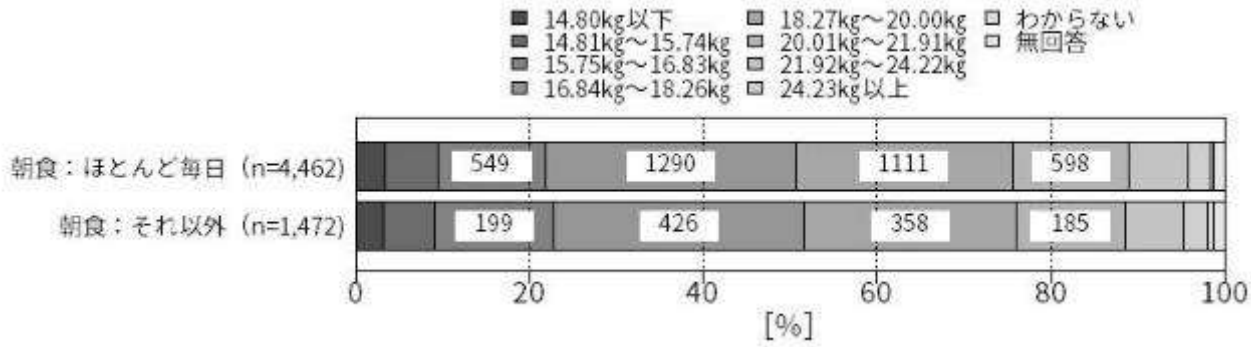


図 131. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食をほとんど毎日は食べない男子は、体重が少ない割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

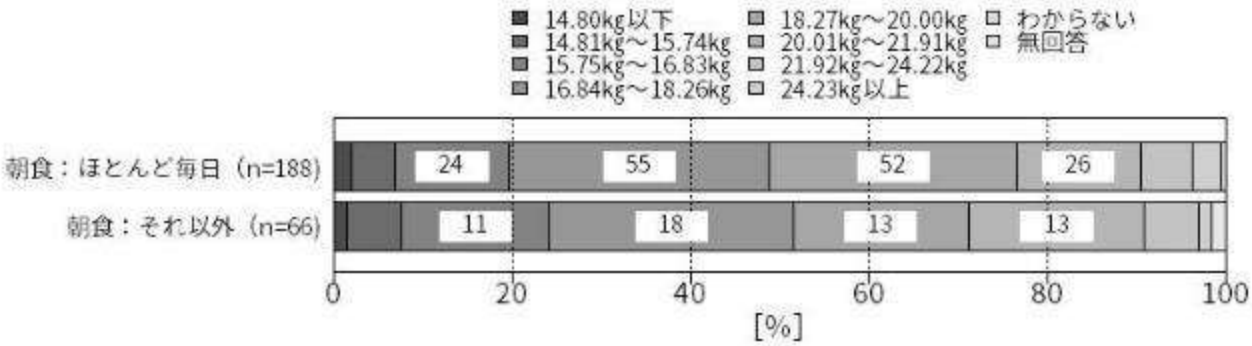
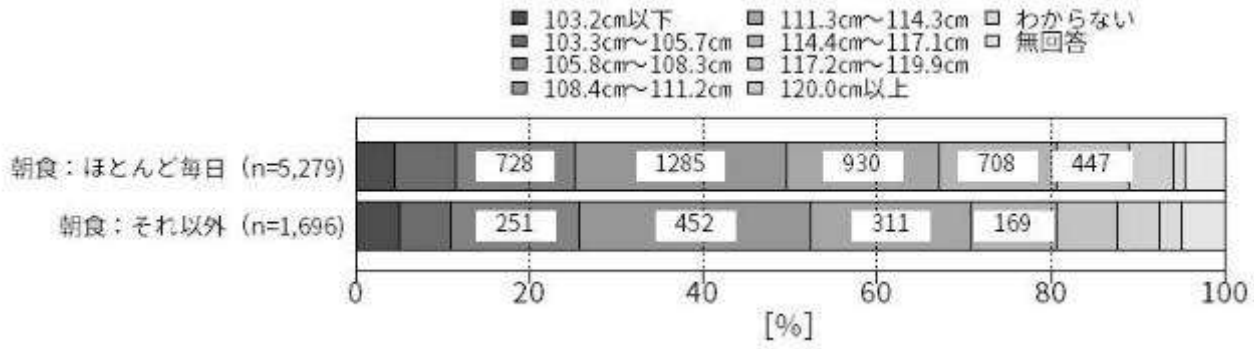


図 132. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食をほとんど毎日は食べない女子は、体重が少ない割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

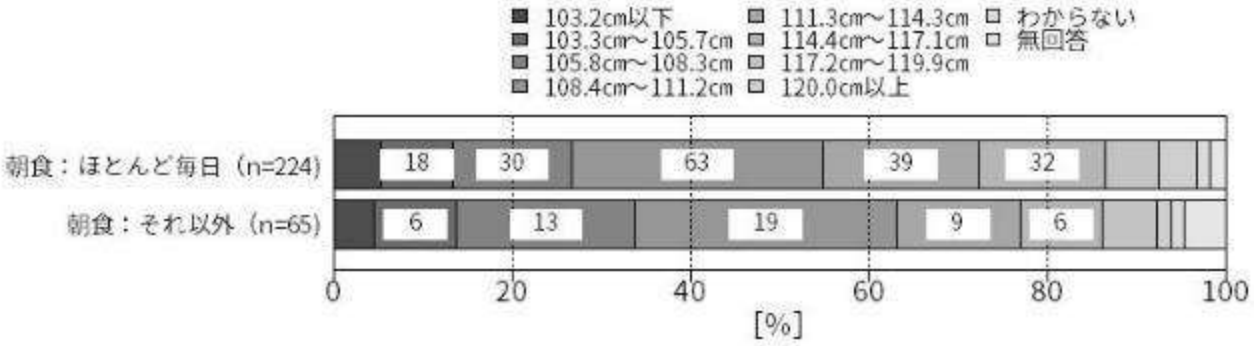
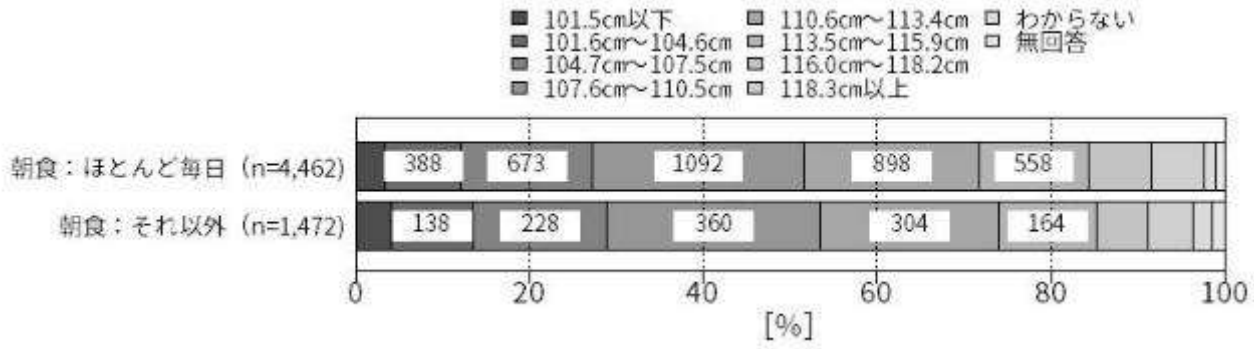


図 133. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食の頻度が低い男子において、身長の低い割合が高かった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

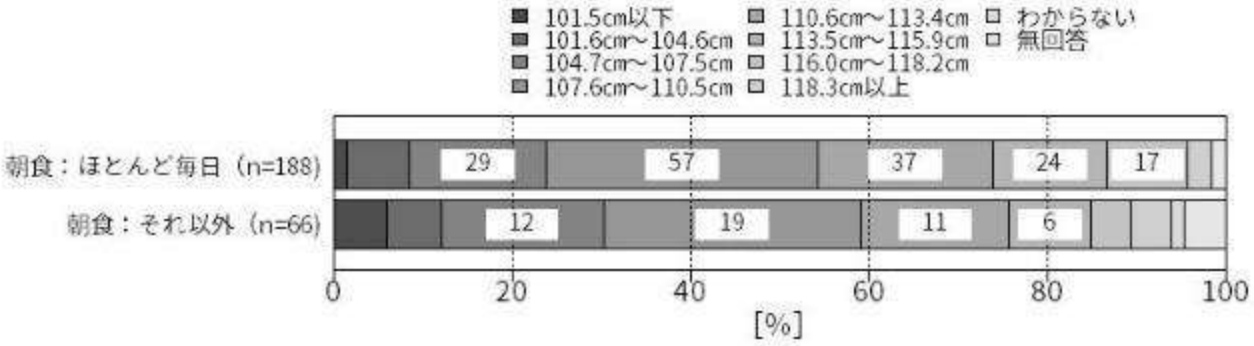
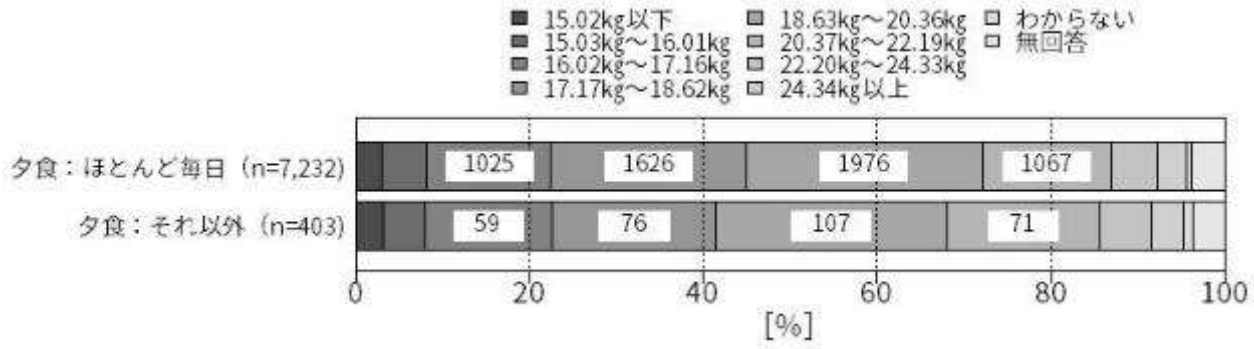


図 134. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食の頻度が低い女子において、身長の低い割合が高かった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

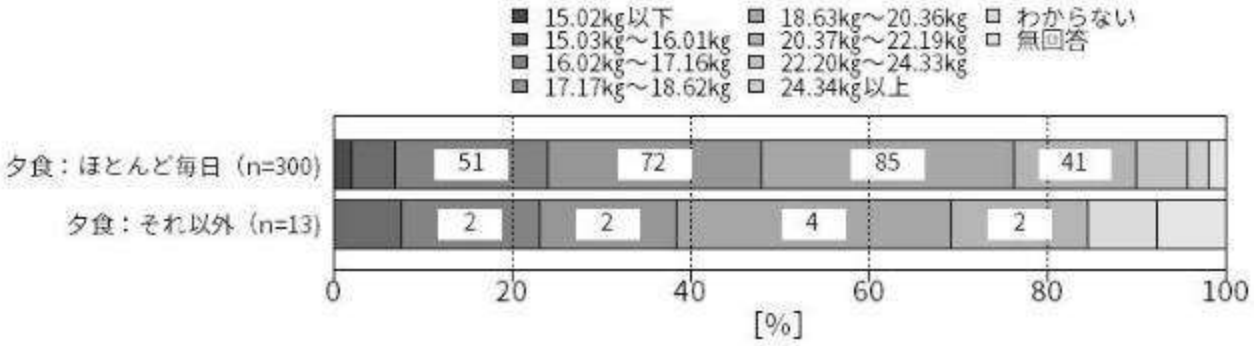


図 135. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食を毎日食べるわけではない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。